

理学部 理学科 4年生アンケートの集計と分析

このアンケートは、卒業を目前にひかえた理学部理学科4年生(2023年3月卒業生)が、本学部の教育システムである「一学科による教育プログラム制」に対してどのような意見をもち、どう評価しているのかを調べるために本学部独自に実施したものである。全対象学生からのアンケート回答回収を目指して各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。

提出期限: 2023年2月17日(金)

提出場所: 理学部 教務企画係 または 共通学科事務室

結果、194名から回答を得ることができた。回収率は99.5%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計とその分析を行った。

なお、卒業判定前にアンケートを実施したため未卒業生分も含めた集計となっている。

はじめに

2016年3月卒業生(2012年4月入学生)から卒業要件が変更されている。これ以降、2023年3月卒まで卒業要件の変更はないが、この変更がアンケート結果に影響を与えているかもしれないので、ここに変更点をまとめておく。

情報基礎 A, B に情報処理概論が加わり、教養教育の情報科目3単位が必修化された。

専門基礎科目の理学教養科目が教養教育の理系基礎科目に変更された。

必修外国語科目が10単位から8単位に変更された。

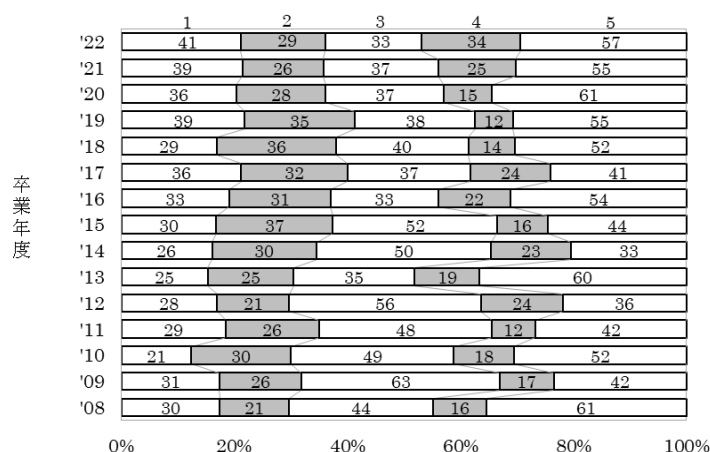
共通基礎科目以外の教養科目の必須単位も9単位から11単位に変更された。

これらに伴い、卒業研究の履修要件が理系基礎科目以外の教養科目について1単位増えた。

あなたのコースは何ですか

1. 数学 2. 物理学 3. 化学
4. 地球環境科学 5. 生物学

多少の変動はあるもののここ数年の各コースを卒業する学生の割合に特段の変化は見られない(数学20~40%, 物理学20~35%, 化学35~55%, 地球環境科学10~25%, 生物学30~60%)。ただし2022年度は地球環境科学コースが増加した。



A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学理学部を選んだ理由を記述して下さい。

回答数（意見など）：186件

「入学後に専門分野を選ぶことができる」、「幅広く学ぶことができる」ことを理由として挙げている回答が50%程度と最も多い一方で、成績で決めたとする消極的な回答も10%程度存在する。大学の立地を理由としている回答も10%程度あるが、2016年の熊本地震やここ3年間のコロナ禍のような災害が入学者の志望動機に与える影響についても解析が必要である。

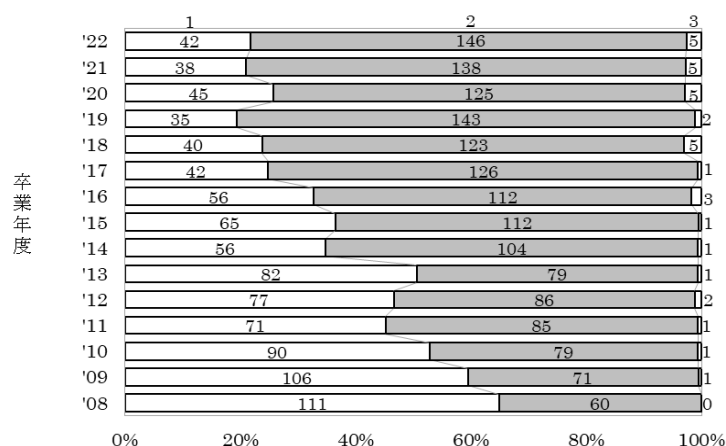
B. 教育システム、授業内容について

1年次理系基礎科目と 2年次理学共通科目の教育内容について、お聞きします。

(B1) 1年次理系基礎科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

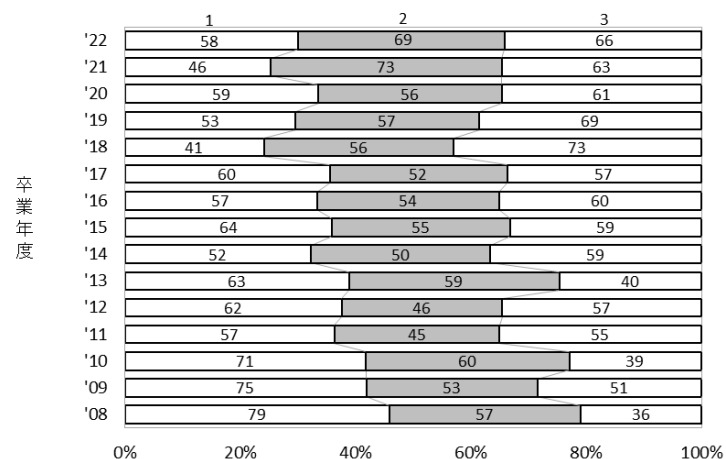
「適当」であると感じた学生の割合が、徐々に増え近年8割程度となっている。



(B2) 1年次理系基礎科目において全ての科目を履修しなければならないことに関して

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

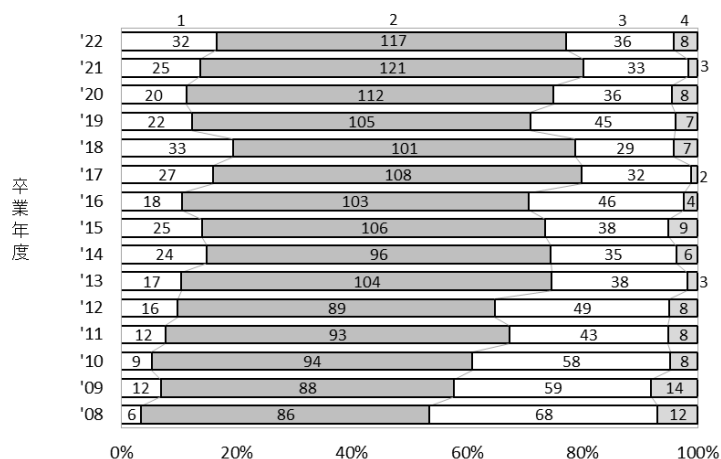
例年と同様な傾向で、3つの選択肢がほぼ3分の1ずつ選ばれている。



(B3) 1 年次理系基礎科目において 5 分野全てを履修したことは有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

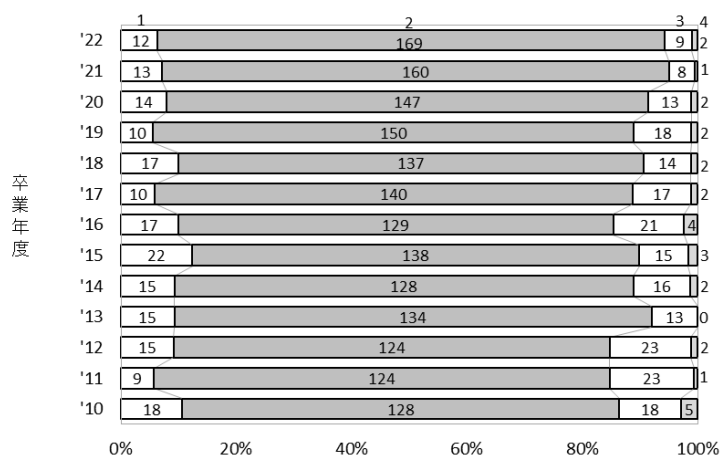
肯定的な回答割合が3/4に達し、ここ数年は同じような割合で推移しており、頭打ちの状態にある。残る1/4は、消極的な志望動機や入学時に専門を決めていたとする割合に近く、相関等から対応すべき点が見えてくる可能性がある。



(B4) 1 年次理系基礎科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

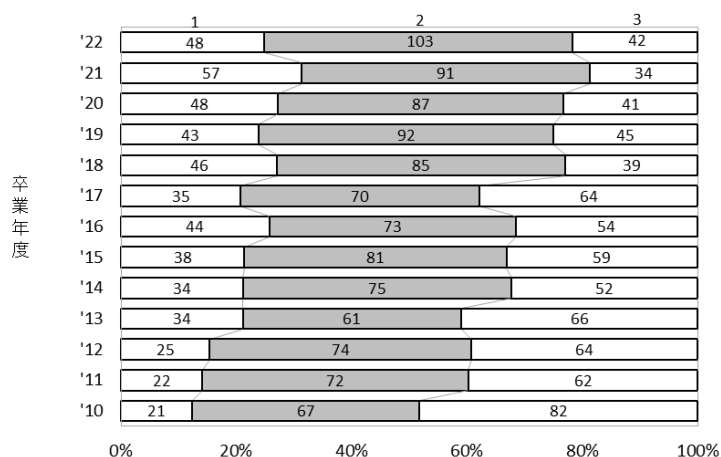
例年通り「適当であった」との回答が多く、今年度も8割以上に達する。入学時の基礎学力が落ちているという印象に反して授業難度に対して全く影響がない理由は不明である。到達目標を下げているか等授業担当者への聴取も必要であろう。



(B5) 1 年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

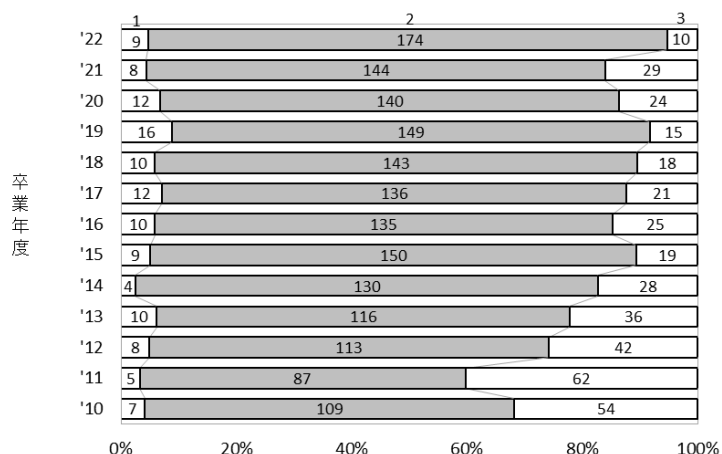
「ゆとりがない」とする回答が徐々に減り、「ゆとりがあった」とする回答が増えている。理想的な回答がわからないためコメントは困難である。



(B6) 2 年次理学共通科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

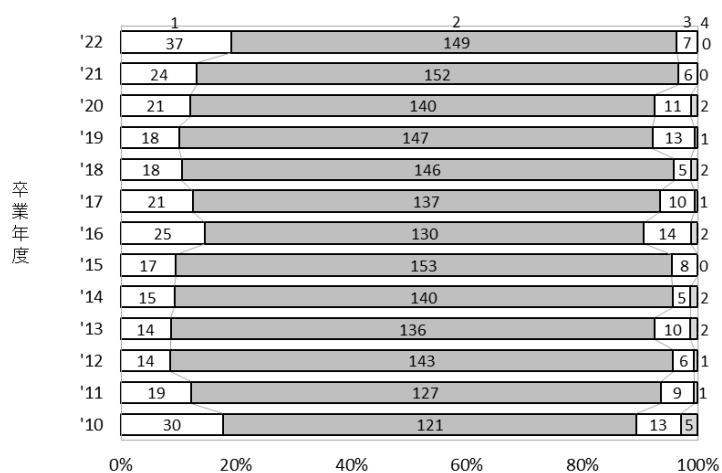
「少ない」とする回答が徐々に減り、「適当」との回答が9割以上の大勢を占めている。



(B7) 2 年次理学共通科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

大部分が「適当であった」という回答で、それぞれの割合は例年ほぼ同じとなっている。

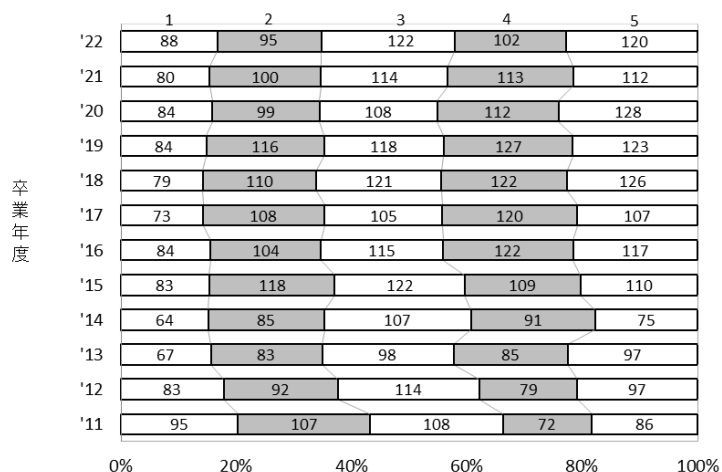


(B8) 2 年次理学共通科目で履修した分野を選んで下さい。

ただし、情報処理概論と理系基礎科目の統計学Ⅰ、Ⅱは除きます。（複数選択可）

1. 数学
2. 物理
3. 化学
4. 地球
5. 生物

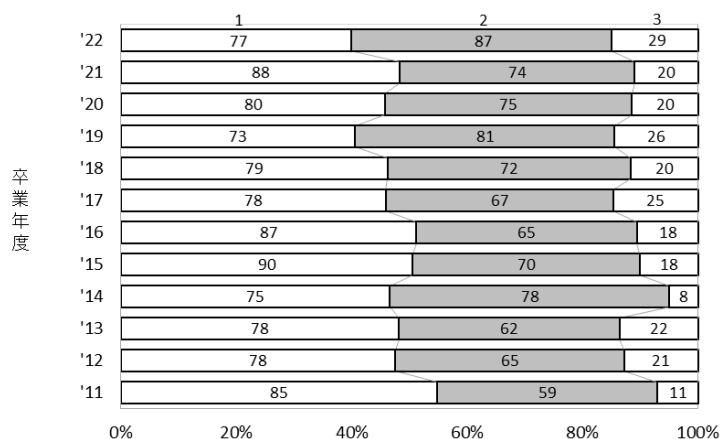
各コースの共通科目を同程度履修しており、「数学・理学の幅広い知識を修得する」という理学科の理念に沿って履修していると考えられる。



(B9) 2年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

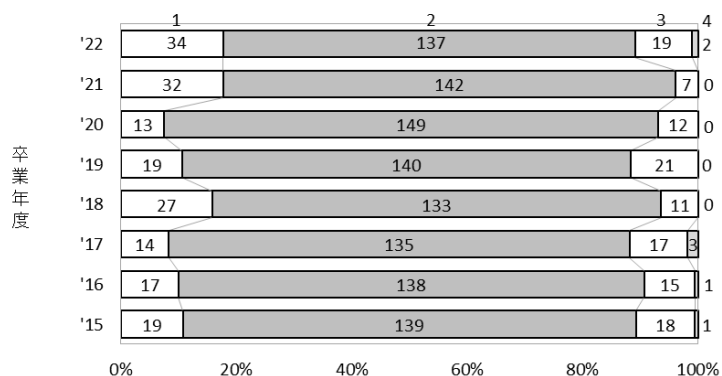
2年次でゆとりがあった学生は40%程度、1年次でゆとりがあった学生は20%程度（B5）で、2年次にゆとりがあったことが分かる。



(B10) 2年次理学共通科目は、これまでの学修において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

「非常に有益であった」と「有益であった」との学生が大半を占めている。

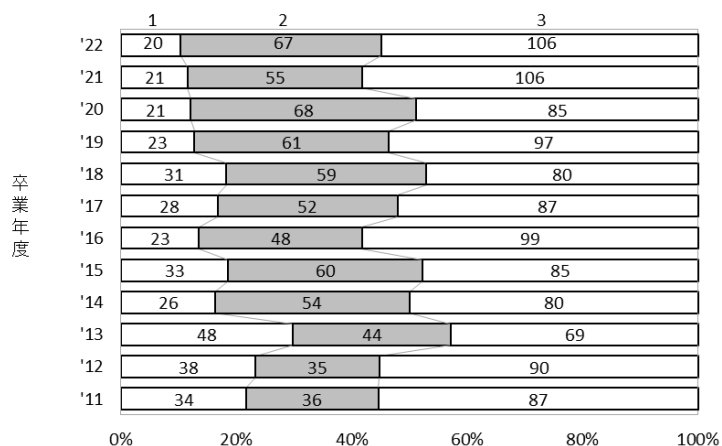


教養教育における科目についてお聞きします。

(B11) 理学部では卒業要件単位 124 単位の内、21 単位は理系基礎科目以外の教養教育の単位を取得する必要があります。負担に感じましたか。

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

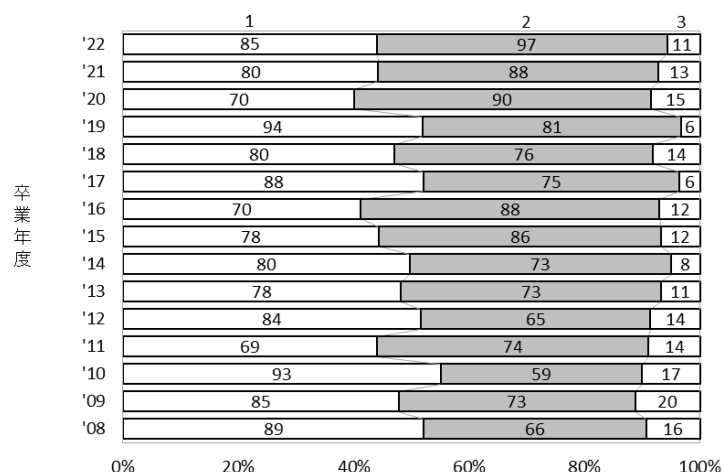
どちらとも言えないを除くと大半は負担に感じていない。しかし負担を感じる学生は1割近くおり、教養教育の意義を伝えきれていないのか等精査が必要である。



(B12) 情報基礎についてどう思いますか.

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

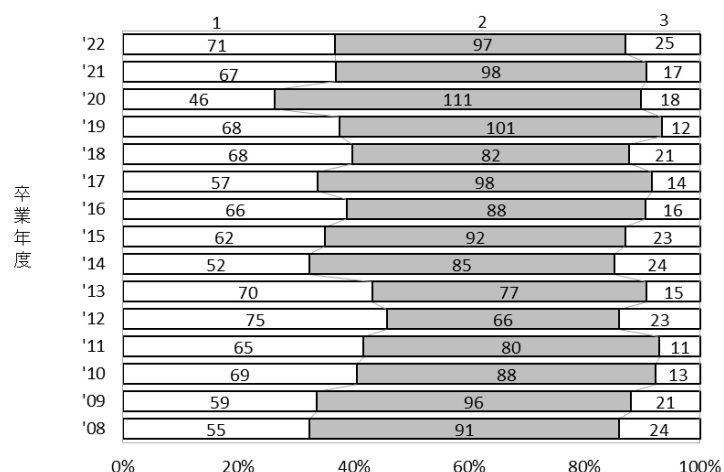
ここ5年程度は「満足するものであった」と「どちらとも言えない」とする回答がほぼ同数である.



(B13) 1年次の既修外国語（英語）科目についてどう思いますか.

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

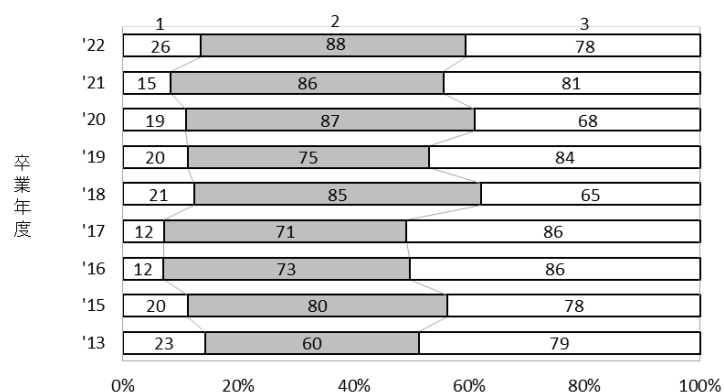
「不満があったという回答は1割以下と低く抑えられているが、「どちらとも言えない」という回答が多く、1年次の4科目のみで英語教育を判断することに無理がある.



(B14) 1年次の既修外国語（英語）科目を履修してコミュニケーション能力が身に付きましたか.

1. 身に付いた
2. どちらとも言えない
3. 身に付かなかった

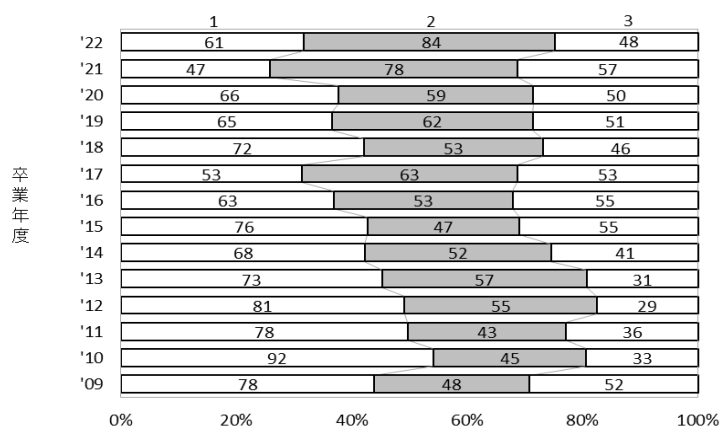
例年「身に付かなかった」という回答が多いが、1年次の1科目のみでコミュニケーション能力を付けることは困難である.



(B15) 自由選択外国語科目も含めて外国語科目の履修により異文化に対する理解が深まりましたか。

1. 深まった
2. どちらとも言えない
3. 深まらなかった

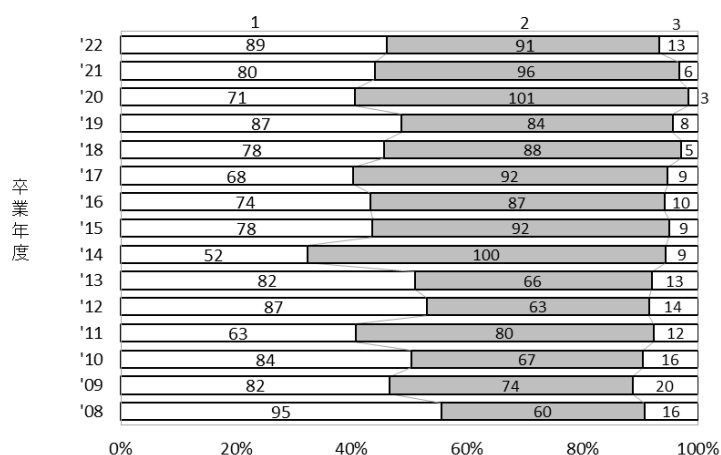
例年「深まらなかった」という回答は3割程度ある。世界共通言語としての英語とそれ以外の外国語それぞれの学位授与方針における位置づけをはっきりとさせ、学生に周知する必要がある。



(B16) その他の教養教育科目（現代教養科目・リベラルアーツ科目・キャリア科目・解放科目・Multidisciplinary Studies）についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

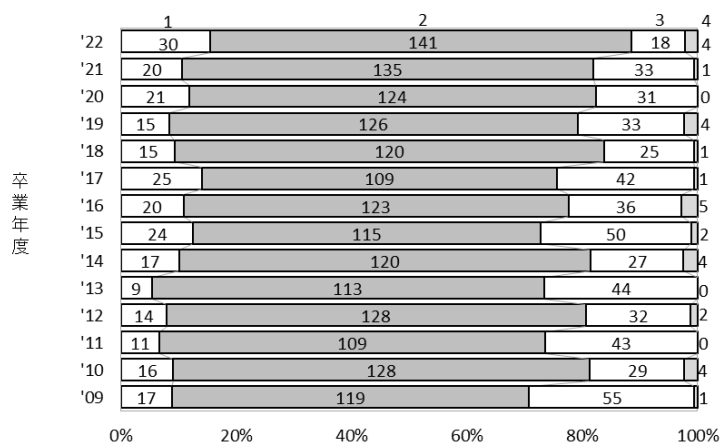
科目区分の変更後に「不満があった」という回答がさらに少なくなっており、変更が有効であったことがうかがえる。



(B17) 教養教育科目（現代教養科目・リベラルアーツ科目・キャリア科目・解放科目・Multidisciplinary Studies）でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他

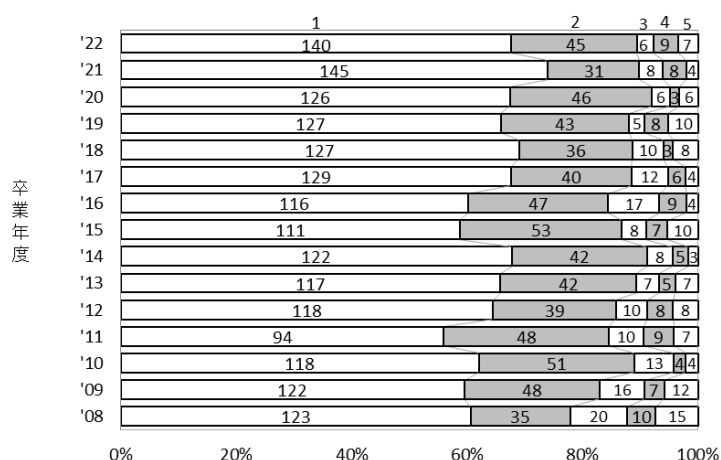
単位が取りやすいものでなく興味がある科目を履修している学生が大半を占めている。ただし、単位を取りやすい科目を選んだ者も1割程度おり、改善の余地はある。



(B18) 教養教育で履修した科目の全てについてどう思いますか。 (複数選択可)

1. 専門以外の授業が受けられて非常にためになった
2. 教養教育科目 (教養科目等) は科目数が多すぎてどれを選べばよいかわからなかった
3. もっと高度な内容を取り扱ってほしかった
4. 高校と同程度で意味が無かった
5. その他

「非常にためになった」という学生の割合が6割以上を占め、多くの学生が充実した教養教育を受けていると考えられる。



(B19) 教養教育において特に印象に残った授業科目あるいは授業内容を挙げてください。

回答数 (授業科目または授業内容): 69件

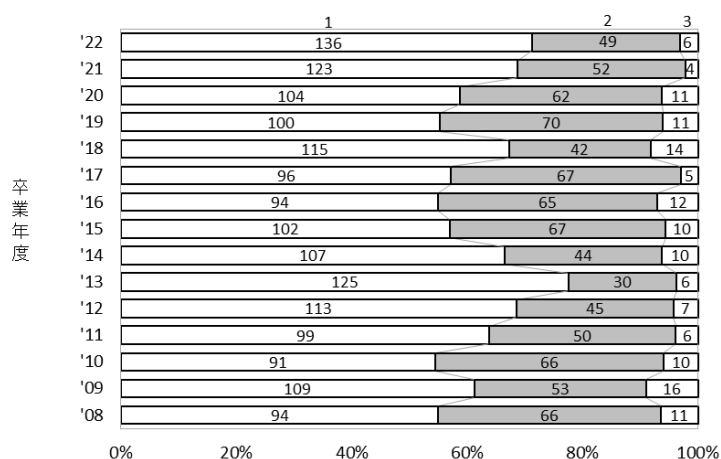
理学以外にも幅広い内容の教養科目について学生たちが知的刺激を受けている様子がうかがえる。

履修指導および3年次からのコース選択についてお聞きます。

(B20) コース選択のために提供された情報 (学生便覧, コース説明会, 推奨科目など) は

1. 十分である
2. もう少し多い方がよい
3. 不十分である

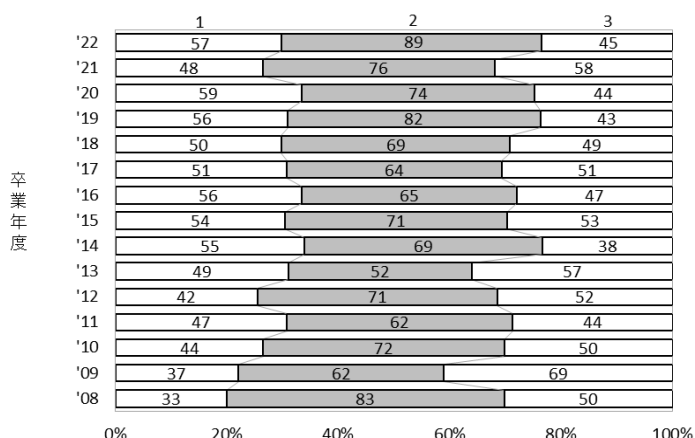
「十分である」とする回答が約7割を占めるものの、「不十分である」「もう少し多い方がよい」という回答も3割程度ある。3年次からのコース選択は熊本大学理学部の大きな特徴であるので、必要な情報を調査した上で適宜提供することが望まれる。



(B21) 2 年次までのチューター制度は役に立ちましたか.

1. 助言をもらったり相談にのってもらい役にたった
2. どちらとも言えない
3. 提供された情報で十分であり,
チューターとの面談は必要なかった

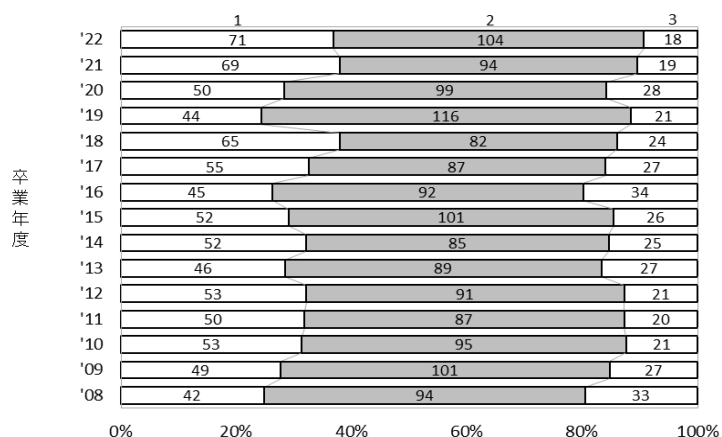
役にたったとする回答は3割弱とあまり多くなく,
(B20) とも関連して学生のニーズを基にチューター
制度の見直しが必要である.



(B22) コース選択の際に, 1 年次理系基礎科目, 2 年次理学共通科目の教育内容は影響が

1. 非常にあった
2. 少しはあった
3. まったくなかった

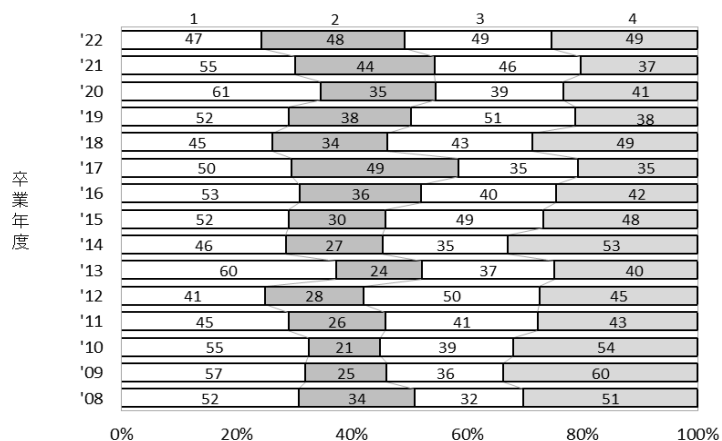
「非常にあった」「少しはあった」という回答が8
割以上を占めている. (B23) および (B24) の最終
的なコース選択との相関を基に科目の到達目標等の
見直しの必要性についても検討すべきであろう.



(B23) コースはいつ決めましたか.

1. 入学前
2. 1 年終了時
3. 2 年前期終了時
4. 2 年後期

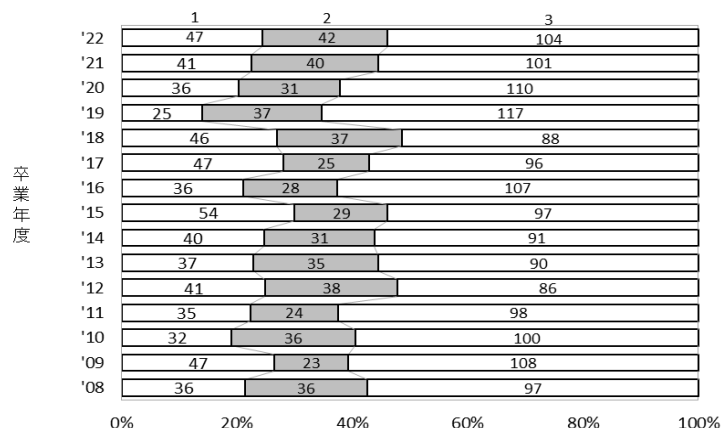
「入学前」という学生は約3割いる一方で, 多くの
学生が入学後にコースを決めていることがわかる.



(B24) 入学時点で希望していたコースと最終的に選択したコースとで変更はありますか.

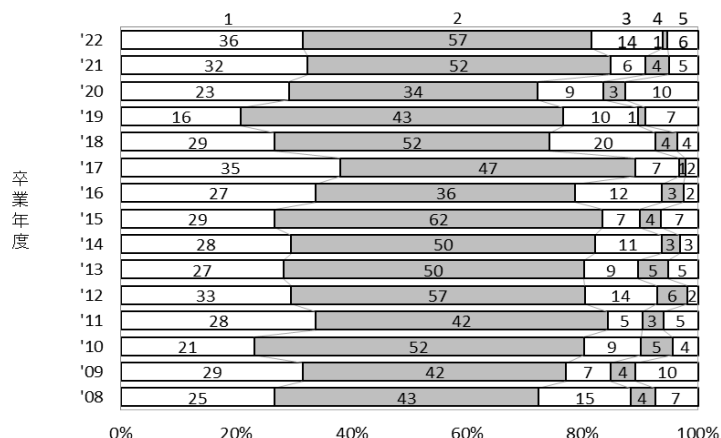
1. 変更した
2. 入学時点では特定の希望はなかった
3. 変更しなかった

約 8 割の学生がコースを決めて入学しており，そのうちの約 3 割が入学後に変更している．コースを変更した学生と入学時に特定の希望がなかった学生を含めると約 4 割の学生が入学後に最終的なコースを決めているようである．



(B25) 前問で 1. 変更した あるいは 2. 入学時点では特定の希望はなかった を選んだ方にお聞きします．
コースを変更した理由あるいは決めるときに考慮した事項は何ですか．（複数回答可）

1. 1 年次理系基礎科目を受講して，コースを変更あるいは決めた
2. 2 年次理学共通科目を受講して，コースを変更あるいは決めた
3. コース説明会を聞いて，コースを変更あるいは決めた
4. チューターとの相談を通して，コースを変更あるいは決めた
5. その他 （回答：8 件）



1・2 年次の受講科目によってコースを決めた学生が大勢を占めており，これらの科目の重要性が教員に認識されるべきである．

(B26) コース説明会の時期はいつがよいですか．現在は 1 年次の後学期開始時期に開催していますが，回数や時期に関して意見があれば自由に記述して下さい．

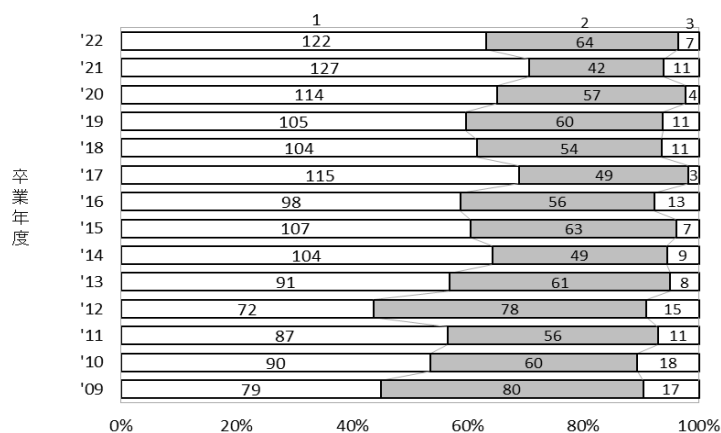
回答数（回数や時期に関して）： 45 件

現在のままで良いとする意見が多かったが，説明の機会を増やして欲しいという意見もあった．コース選択に必要な情報を基に適切な時期にその情報を提供するようにすべきである．

(B27) 現在，3 年進級時にコースを選択していますが，今かえりみていつがよかったと思いますか。

1. いまのまま（3 年進級時）
2. 2 年後期から
3. その他

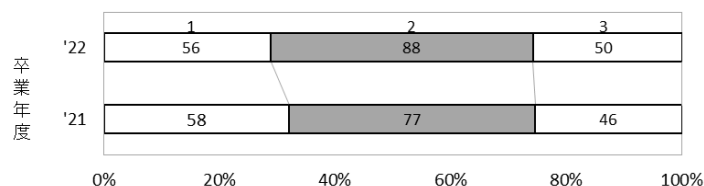
ここ数年，「いまのまま（3 年進級時）」が半数を超えているが，「2 年後期から」とする回答も4割程度ある．共通科目が4年次進級要件に入っており，時間割の構成に注意が必要である．



3, 4 年次の理学専門科目（卒業研究を除く）の教育内容についてお聞きします。

(B28) 2 年次理系実用英語について積極的に取り組みましたか？

1. はい
2. どちらともいえない
3. いいえ

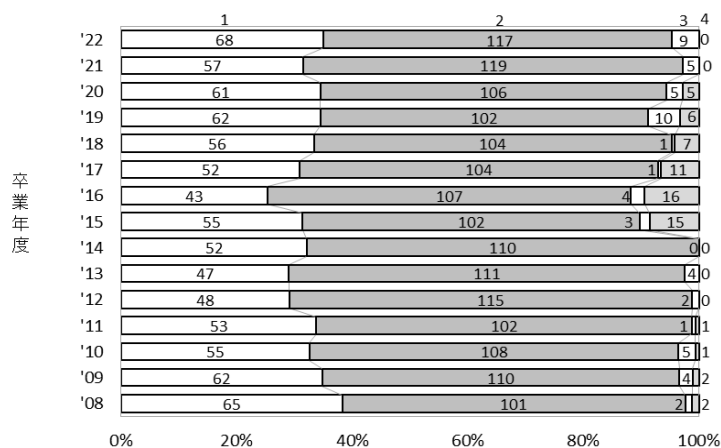


どの回答も1/3程度の割合を占めているが，「どちらともいえない」という回答が最も多い。

(B29) 理学専門科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

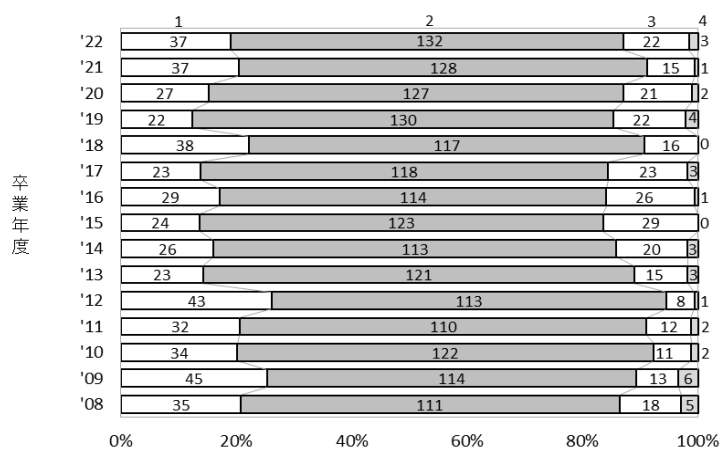
ここ数年と同様の傾向で，「難しかった」が3割程度，「適当であった」が約6～7割で推移している．



(B30) 1 年次理系基礎科目，2 年次理学共通科目（理系実用英語を除く）の教育内容は関連する理学専門科目を受講する上で有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

「非常に有益であった」や「有益であった」が合わせて8割以上あり，連続性のある講義が行われていると考えられる。



(B31) 各コースの講義科目およびその内容について意見があれば自由にお書き下さい。
また，新たに開講してもらいたい科目があれば，記述して下さい。

回答数（意見や授業科目など）： 16 件

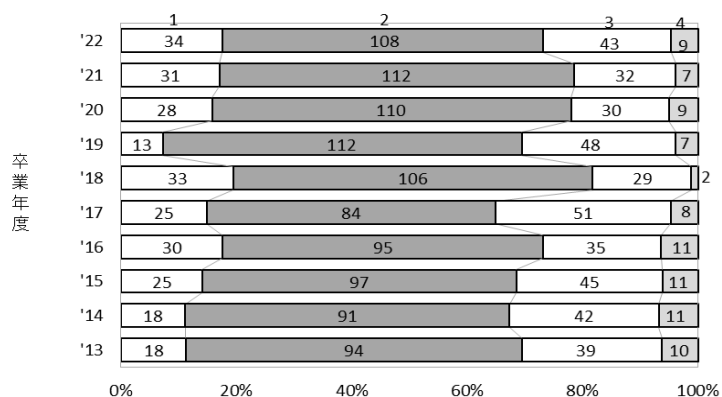
各コースによって，さまざまな意見があるようである。また，講義の開講時期に関する意見もあった。卒業生からの要望については，関係コースと情報共有し，できる限り答えていく努力が必要である。

卒業研究の教育内容についてお聞きます。

(B32) 理系基礎科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

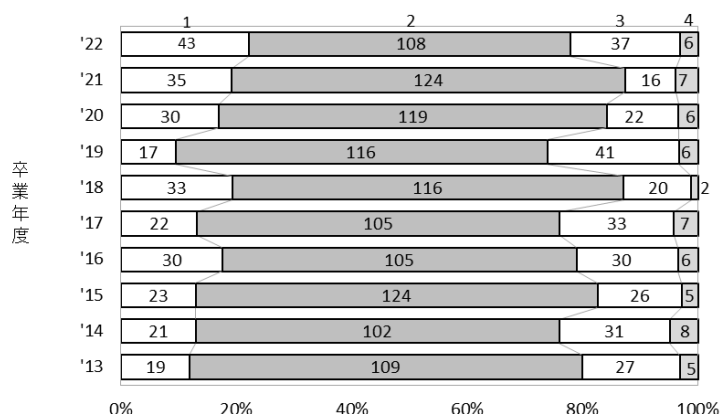
「非常に有益だった」と「有益だった」の意見が全体の半数以上を占める。理系基礎科目が卒業研究の基礎としての有益だったと思われる。



(B33) 理学共通科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

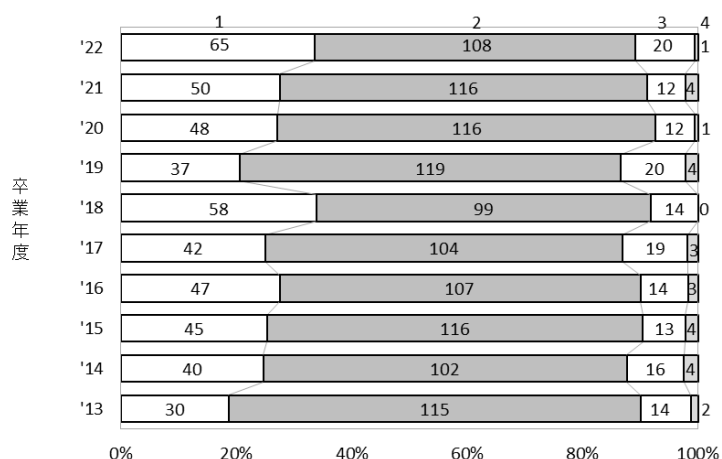
有益と判断する学生が全体の約8割を占め、意義が認められている。



(B34) 3年次の理学専門科目は、卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

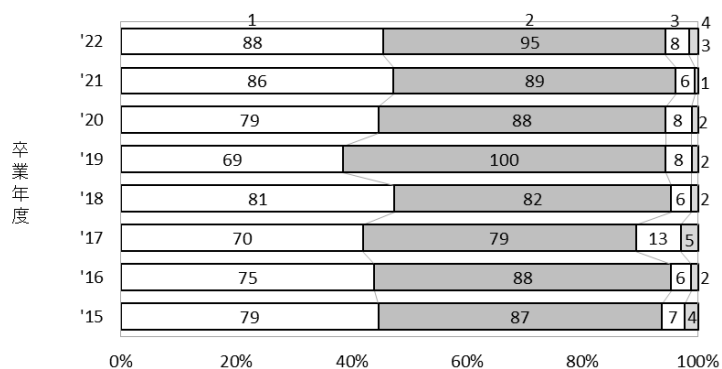
理系基礎科目や理系共通科目よりもさらに「非常に有益だった」と「有益だった」の割合が大きく、3年次の理学専門科目の重要性が示されている。



(B35) 卒業研究そのものは、あなたにとって有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

有益であったとする回答がほとんどを占めており、卒業研究の意義がきちんと理解されていることがわかる。

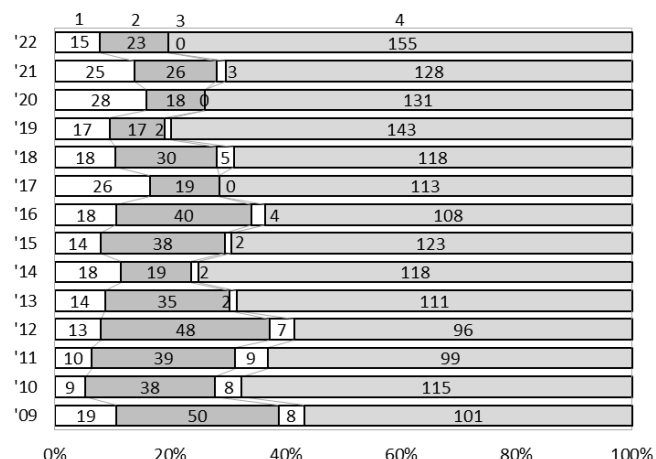


(B36) 教員免許を取得予定ですか。

1. 数学だけの教員免許を取得する
2. 理科だけの教員免許を取得する
3. 数学と理科の両方の教員免許を取得する
4. 教員免許は取得しない

教員免許を志望する学生の割合は、長期的には減ってきているようである。

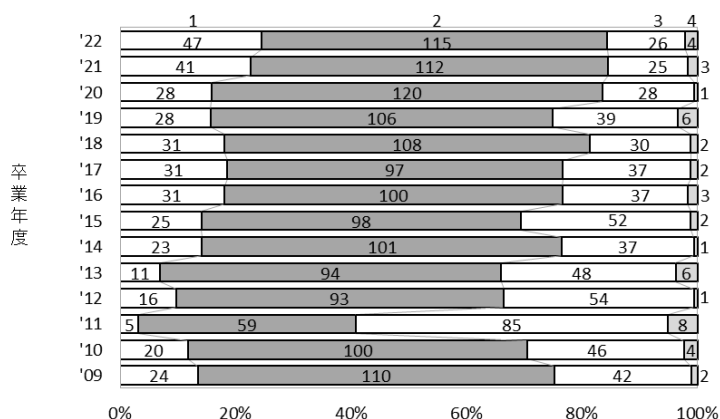
卒業年度



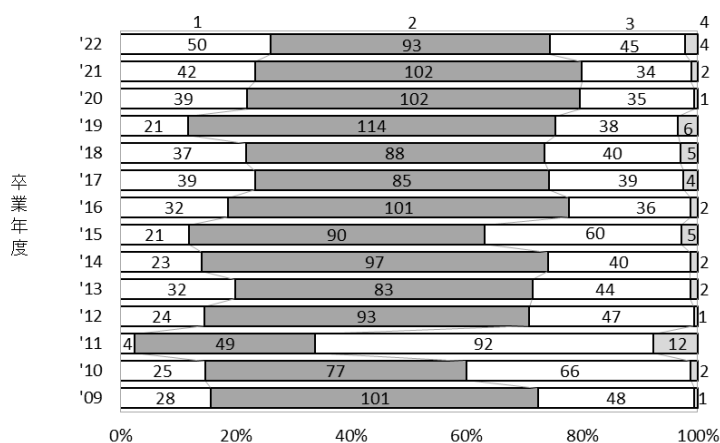
(B37) 4年間の履修を通してどのような力が身についたと思いますか。それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください。

1. よく身に付いた
2. ある程度身に付いた
3. もっと身に付けたかった
4. 全く身につかなかった

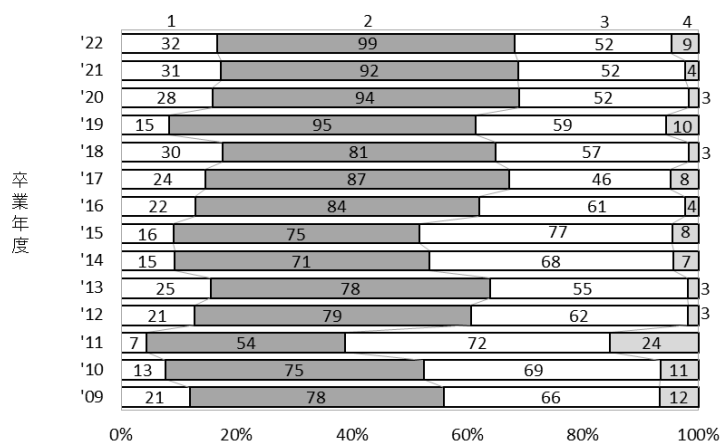
a. 教養・基礎学力：



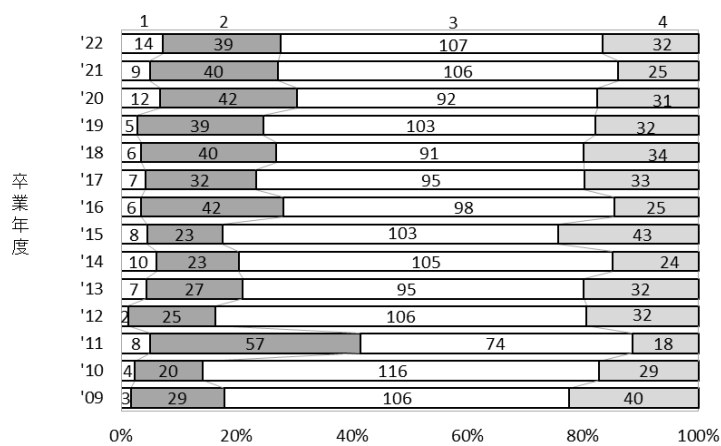
b. 専門知識：



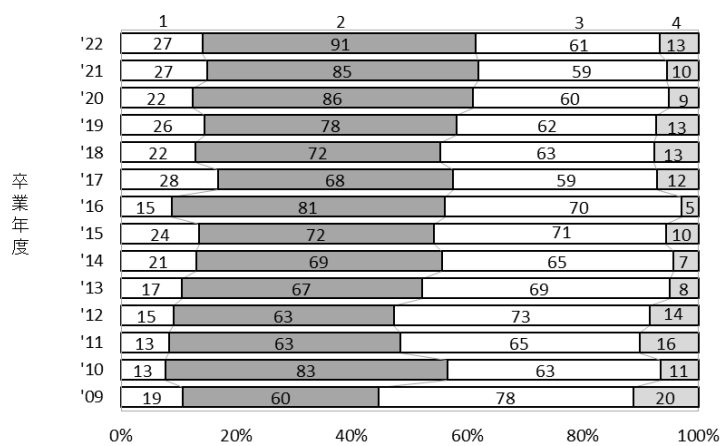
c. 技術・技能：



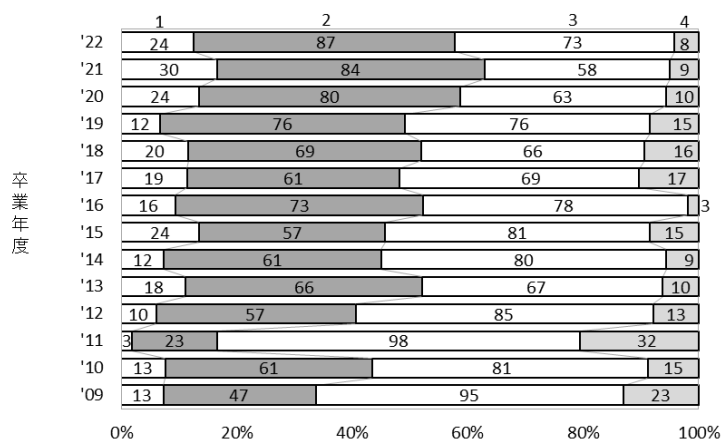
d. 英語を含めた外国語運用力：



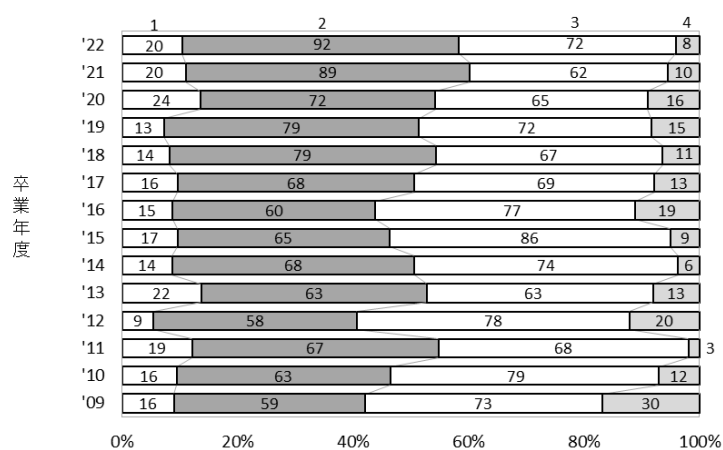
e. 一般的なコミュニケーション力：



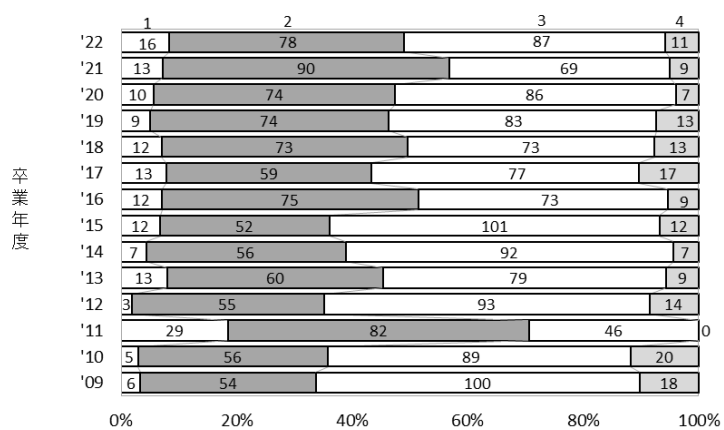
f. プレゼンテーション力：



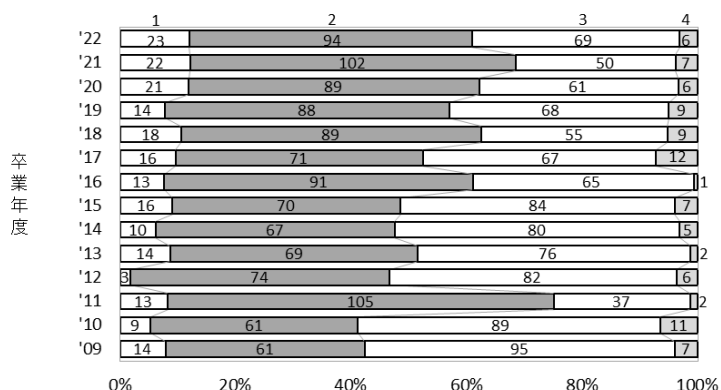
g. IT リテラシー・コンピュータ操作能力：



h. 独創性・発想力：



i. 課題発見・解決力：

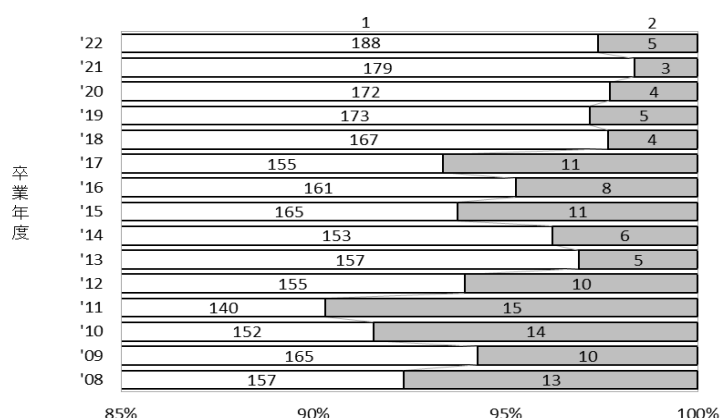


学生が「もっと身につけたかった」と回答したのは、英語を含めた外国語運用力，一般的なコミュニケーション力，プレゼンテーション力であり，一方で教養や専門知識が身についたとしている回答の割合は大きい．このような傾向は長期的にあまり変化していない．教員で情報共有し，卒業研究等の指導を通して改善に努める必要がある．

(B38) 今かえりみて，選択したコースは自分にとってよかったと思いますか．

1. 思う
2. 思わない(理由：4 件)

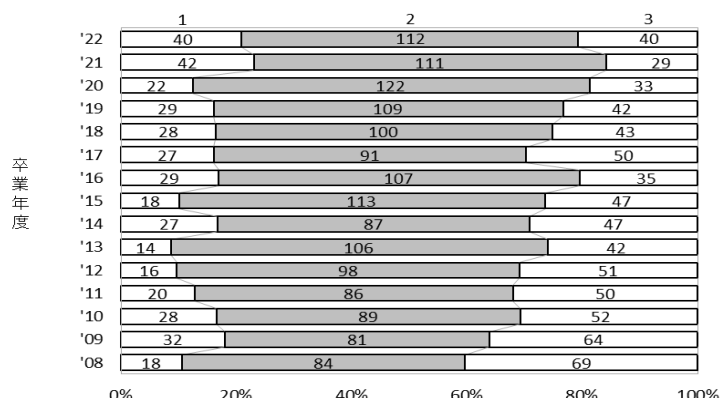
多数の学生が選択コースに満足している様子が見える．一方で，選択の迷い，間違いを指摘するコメントも少数ではあるが見受けられた．



(B39) 4年間の大学生活において，授業に関すること以外で，課題を見つけて自主的に学びましたか．

1. よくした
2. 時々した
3. ほとんどしなかった

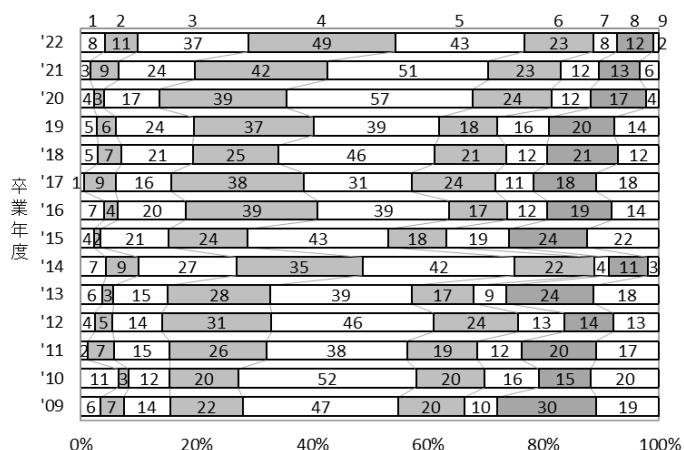
「よくした」という回答は2割程度である．大学がどのような場であるか，教員の経験を紹介しながら呼びかける必要があるだろう．



(B40) 1年次から3年次の間で、講義時間外での学習時間の平均は1週間で何時間ぐらいになりますか。

1. 21 時間以上
2. 16~20 時間
3. 10~15 時間
4. 6~9 時間
5. 2~5 時間
6. 2 時間
7. 1 時間
8. 1 時間未満
9. 全くしない

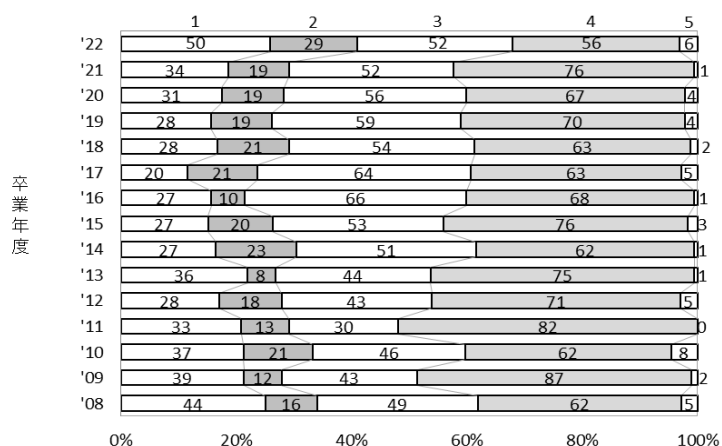
1週間での学習時間が2時間以下という回答が3割近くある。内容を精査する必要があるが、教養教育から専門教育まで全て含まれており、授業改善のためのアンケート結果等に代替してもよいと思われる。



(B41) 4 年間の中で勉学意欲が最も上がったのはどの時期ですか。

1. 1 年次
2. 2 年次
3. 3 年次
4. 4 年次
5. その他

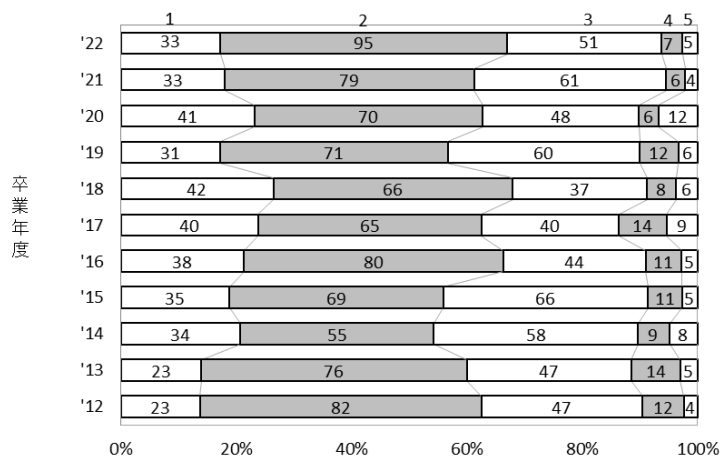
卒業研究のある4年次が選ばれるのはある意味当然であると思われる。しかし今年度1年次の割合が過去最も高い値を示した。この学年は2年次からコロナ禍に入ったため、2年次以降の勉学意欲が減少したものであると思われる。



(B42) 今かえりみて、学部 の 4 年間で、いつの時期にもっと学修しておけば良かったと思いますか。

1. 1 年次
2. 2 年次
3. 3 年次
4. 4 年次
5. その他

2年次という回答が最も多い。2年次はコース選択の大事な時期であり、勉学をモチベートできるような施策が必要であると考えられる。

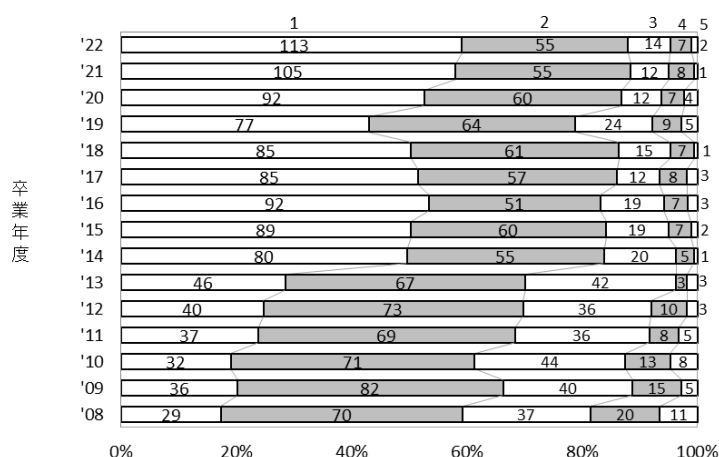


コース制全般についてお聞きします。

(B43) コース制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

ここ数年、満足度の高い傾向が続いている。
コース制を維持することに問題はないと思われる。



(B44) コース制に対して意見があれば自由に記述して下さい。

回答数（意見など）： 16 件

コース制に対して反対意見（コース選択時期は早める意見も含む）と取れるコメント数は8件であった。
一方コース制に満足しているコメント数も5件あった。

C. 卒業後の進路について

(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

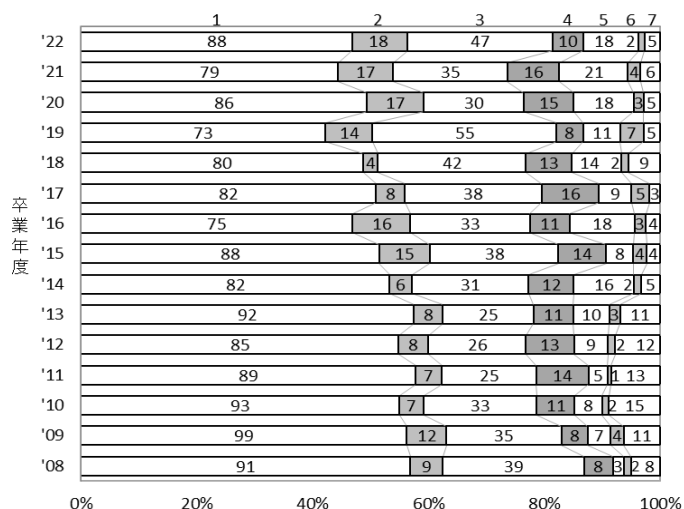
[大学院進学]

1. 熊本大学
2. 他の大学

[就職] 3. 民間企業

4. 教職
(非常勤および臨時採用を含む)
5. 公務員
6. その他の就職先
7. その他（進学・就職以外回答：5件）

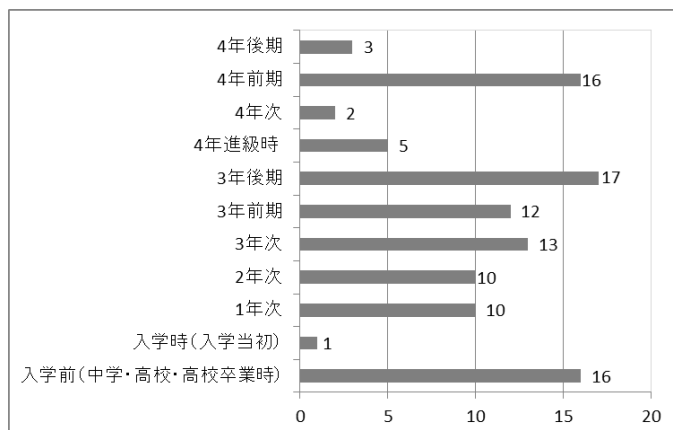
大学院進学者の割合は回復してはいるが、大学院定員には満たない状態である。学部卒業と大学院修了の進路情報等を含めた差を学部早い段階から周知する必要があると思われる。また、本学の行っている経済的な支援情報についても知らせる必要もあろう。



(C2) 大学院に進学する人にお聞きします。大学院進学をいつ決めましたか。

回答数（時期）： 105 件

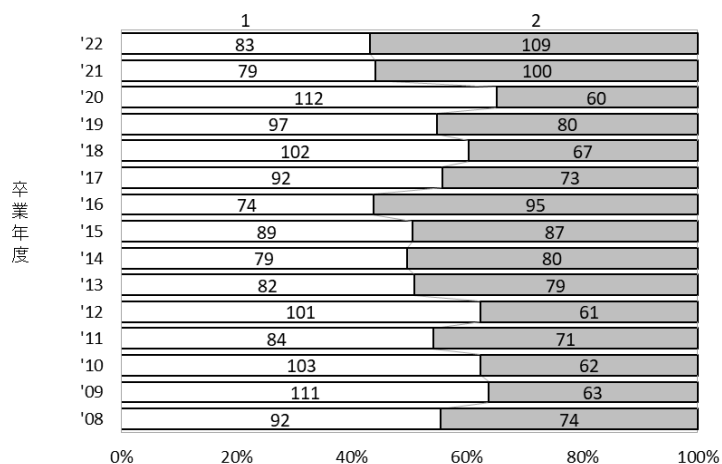
入学前や入学時から決めている学生もいるが、3年次以降に決めている学生もあり、専門教育に触れることで大学院進学を決意したと考えられる。



(C3) 3年次に理学部が開催している進路説明会には出席しましたか。

1. はい
2. いいえ

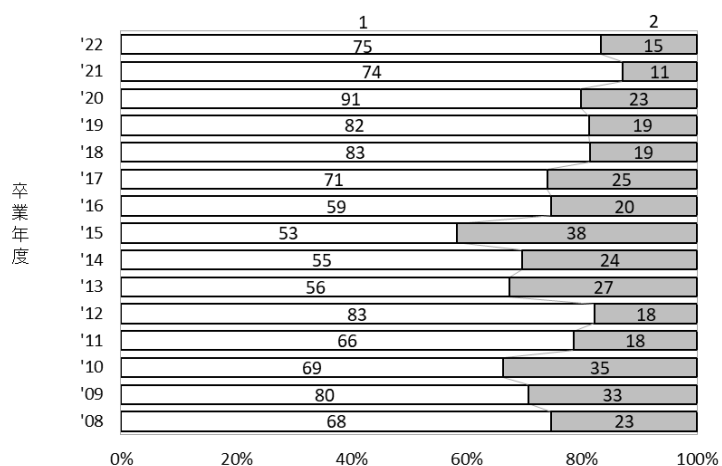
参加しているのは半数程度であり、大学院に進学することを考えている学生は参加しないものと推測できる。



(C4) 上記の進路説明会に出席した方にお聞きします。役立ちましたか。

1. はい
2. いいえ

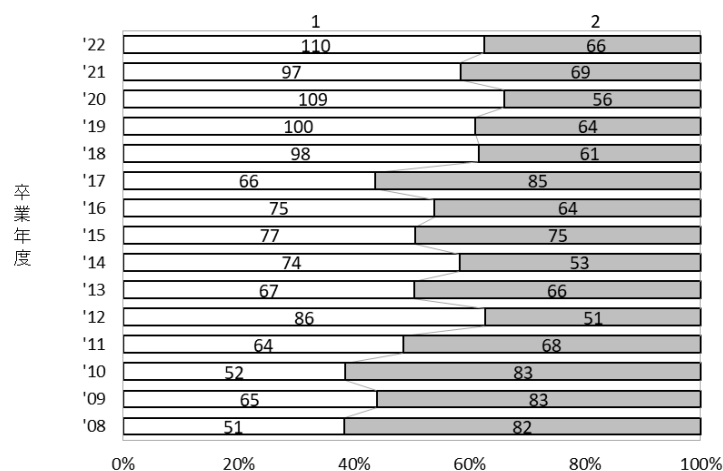
「はい」の割合は7割を超え、学部として開催している就職説明会は有用と思われる。



(C5) 就職に関する理学部からの情報提供は十分でしたか.

1. はい
2. いいえ

長期的には「いいえ」の回答は減りつつあるがそれでも3~4割程度を占める. コロナ禍という特殊事情はあったが, 就職先企業の求人方法も今後大きく変わる可能性があり, それに注視する必要がある.

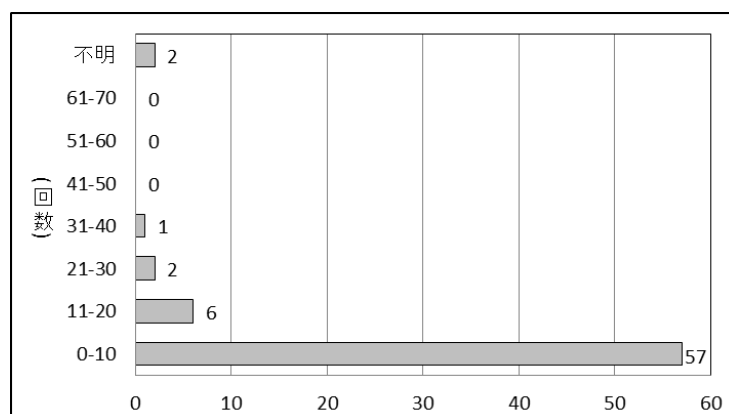


就職活動をした人にお聞きします. 就職活動をしなかった人は(C10)に進んで下さい.

(C6) 就職活動 (面接や企業訪問など) のため, 企業を何回訪問しましたか.

回答数 (訪問回数): 68 件

10回以下が8割程度を占めている.



(C7) 企業への就職活動をおこなった期間はいつですか.

回答数: 69 件

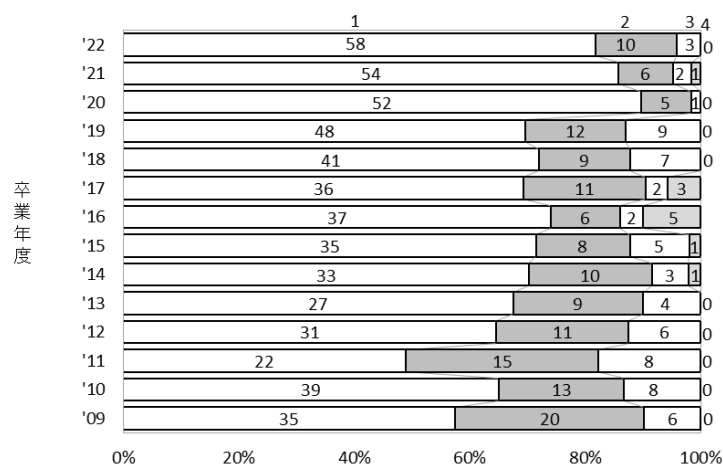
3年生後半に開始し, 4年生の6月~9月頃に終了したという学生が多いようである. これがコロナ禍のような特殊事情によるものかどうかはわからないが, 求人募集の情報を適切かつ確実に就職希望者に伝える方策を検討する必要がある.

開始時期	人数	終了時期	人数
2020.09	1	2021.05	1
2021.01	2	2021.08	1
2021.04	4	2022.01	1
2021.05	1	2022.03	4
2021.06	5	2022.04	8
2021.07	2	2022.05	10
2021.08	5	2022.06	8
2021.09	2	2022.07	10
2021.10	3	2022.08	9
2021.11	5	2022.09	2
2021.12	5	2022.1	4
2022.01	4	2022.11	1
2022.02	4	2022.12	2
2022.03	14	2023.01	1
2022.04	3	2023.02	2
2022.05	2		
2022.06	2		
2022.08	1		
2022.09	1		
2022.10	2		

(C8) 就職活動のため、大学の授業や試験を休んだ回数は延べ何回ですか。思い当たる範囲で結構ですので、授業の回数（コマ数）でお書き下さい。

1. 0～5回
2. 6～10回
3. 11～30回
4. 31回以上

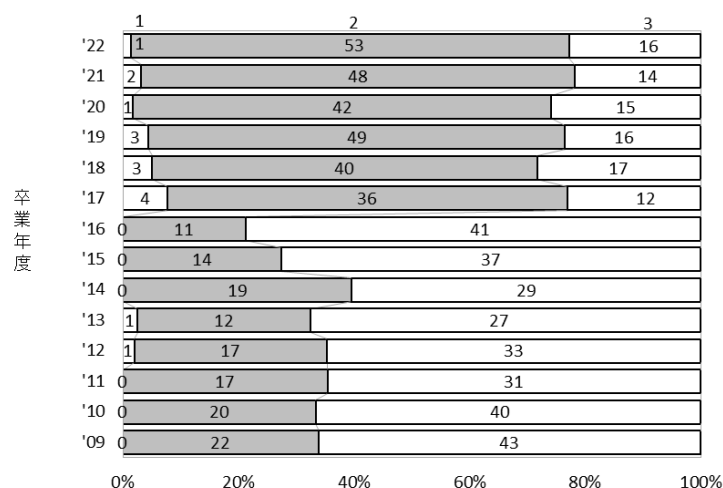
ここ2年ほどは1の回答割合が急増している。コロナ禍で多くの企業がweb面接等を実施したための一過性の可能性はある。今後の求人動向を注視する必要があるが、同時に就職を希望する学生へweb面接等への対策を取るよう指導することもある必要となると思われる。



(C9) 企業等からの求人で学部やコースからの推薦を依頼されることがありますが、この推薦枠を利用されましたか。

1. 推薦枠を利用した
2. 推薦枠を利用しなかった
3. 知らなかった

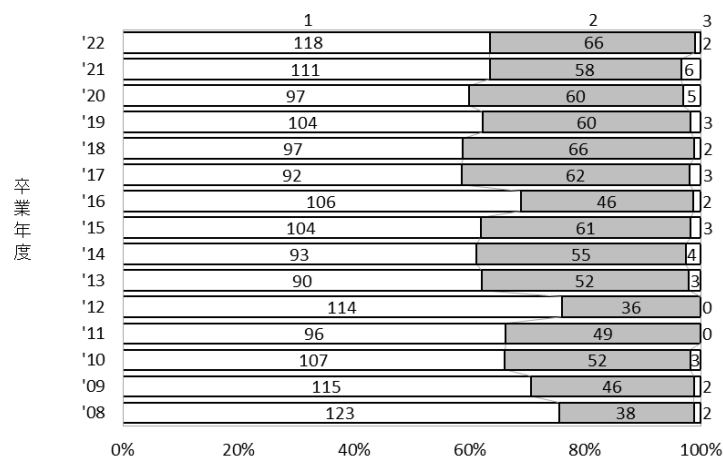
2017年以降に「知らなかった」は約2割となっているが、周知徹底が必要かと思われる。ただし推薦枠の利用がほとんどないことも問題かもしれない。



(C10) 現在、3年次を対象とした進路説明会は行っていますが、大学院進学希望者への学部全体での説明会は行っていない。大学院進学に向けての説明会はあった方がいいですか。

1. あった方がよい
2. なくてもよい
3. その他

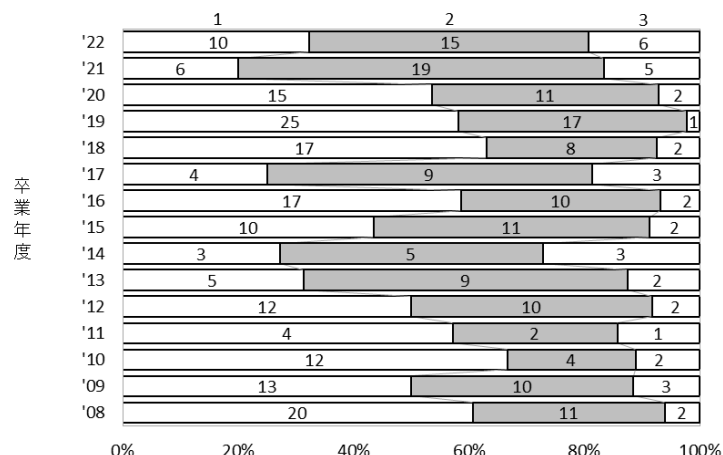
「あった方がよい」の回答率が6割近くに達しており、開催時期や内容を含め検討することが望まれる。



(C11) 学外特別演習（インターンシップ）を履修した方にお聞きます。卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

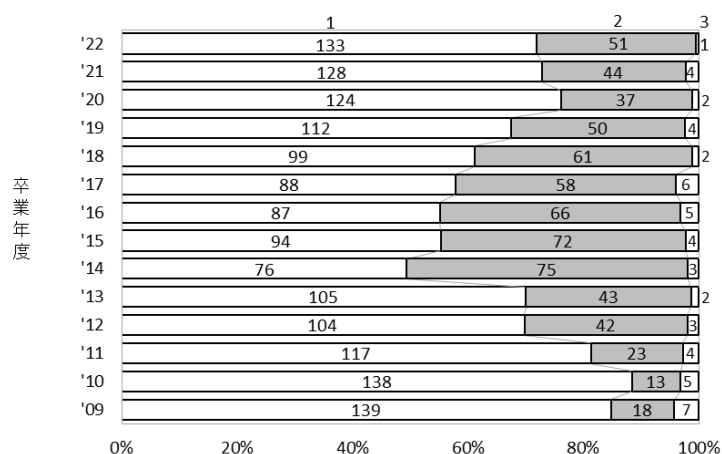
2020年までは約半数の方が役に立ったと答えているがここ2年はその割合が2～3割程度となっている。原因説明が必要かもしれない。



(C12) 理学概論を開講し、2年次に理学が企業などの管理職などでどのように活用されているかを学ぶ機会を設けています。このような科目は必要だと思いますか。

1. あった方がよい
2. なくてもよい
3. その他

1の回答について一時は減少傾向が続いていたが、増加傾向が続いている。キャリア科目としてキャリア選択に役立っていると思われる。



(C13) その他、大学院進学や就職に関して希望することもしくは意見があれば自由に記述して下さい。

意見など： 4件

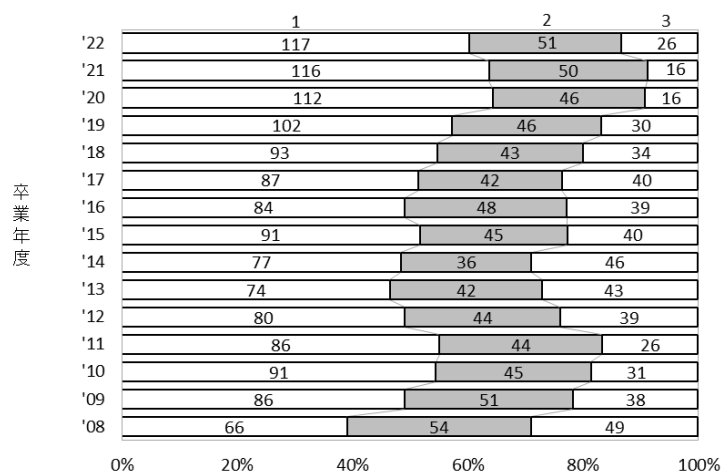
教職用の時間割と理学部の時間割が被っているので時間割を再検討してほしい、インターンシップ活動が活発化する可能性があるため、理学部としても情報提供をお願いしたいとの要望あり。

D. 学習環境について

(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか.

1. 十分
2. どちらとも言えない
3. 不十分

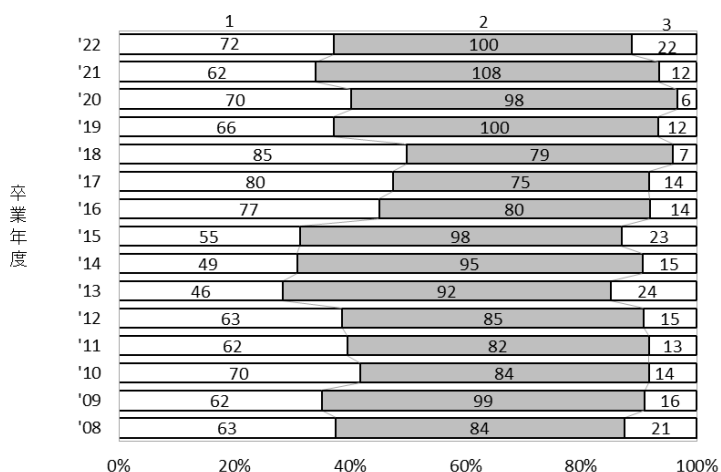
半数以上が「十分」と回答しており、増加傾向にある。「不十分」との回答もあり、小講義室の解放等について周知が必要である。



(D2) 本学の中央図書館や理学部の図書室を利用しましたか.

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

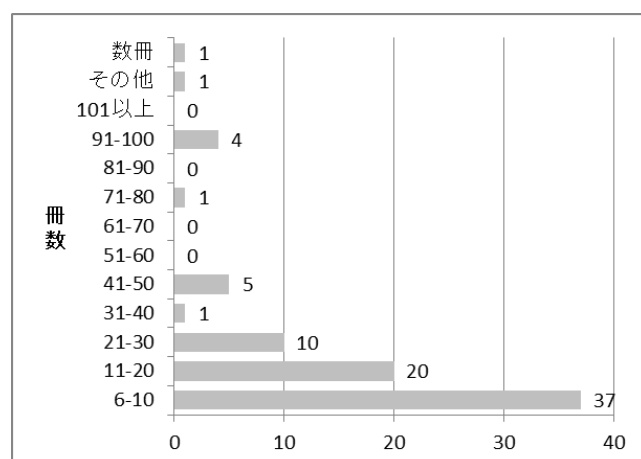
「よく利用した」と「時々利用した」でほとんどを占めており、図書館や図書室はよく利用されていると評価できる。



(D3) 大学 4 年間に教科書以外の専門書をどれくらい読みましたか。冊数で答えて下さい。

回答数 (冊数) : 165 件

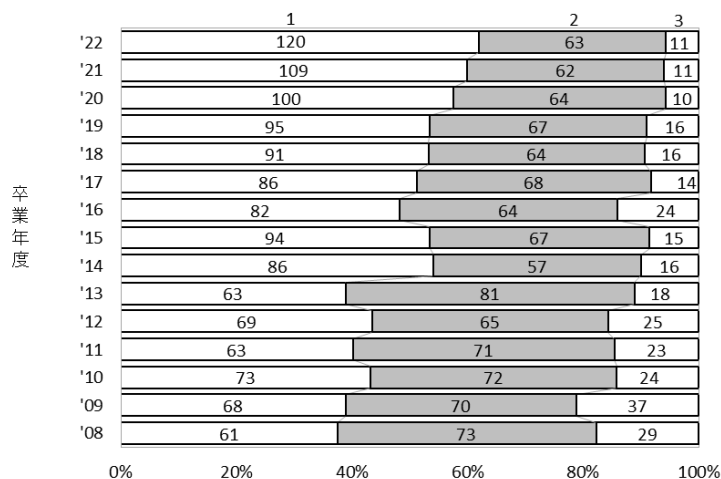
4年間で20冊以下という学生が大半を占め、年間で平均5冊以下ということになる。講義中に良い本を紹介するなどの対応が必要であろう。



(D4) 本学の中央図書館や理学部の図書室の専門図書は充実していると思いますか。

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

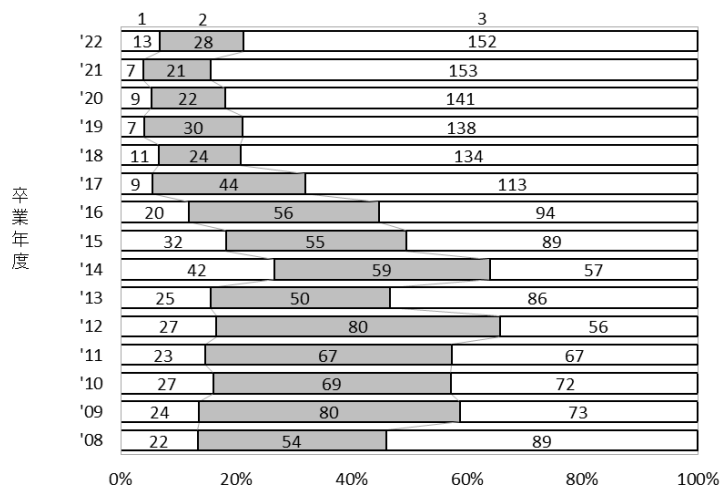
ここ数年「はい」の回答が約 5 割に達している。専門図書は充実していると捉えられているようだが、活字を読まないため必要ない可能性は否定できない。



(D5) 理学部の計算機室は利用しましたか。

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

「あまり利用しなかった」の割合が増加している。スマートフォンを含め携帯端末の普及によるものと思われる。今後計算機室の必要性についても検討すべきである。



(D6) 自主的な学習環境として必要なものがあれば、挙げて下さい。

回答数（必要なもの）： 32 件

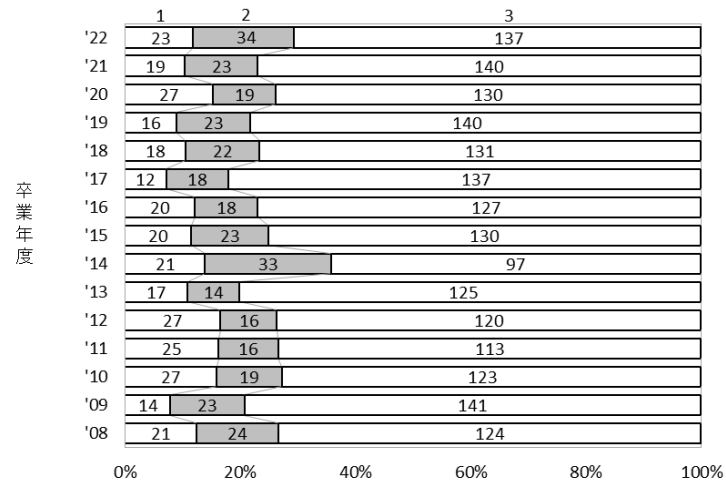
自習スペースの要望（夜遅くや24時間利用可能な自習スペースの設置を要望する意見もあり）が多数あったが、小講義室を自習室として開放していることの周知も必要である。またWi-Fi環境が弱いのでしっかり整備してほしいとの要望が複数でいた。

E. 学生生活について

(E1) 学生生活に関して担任やチューターに相談したことがありますか。

1. 2回以上
2. 1回
3. ない

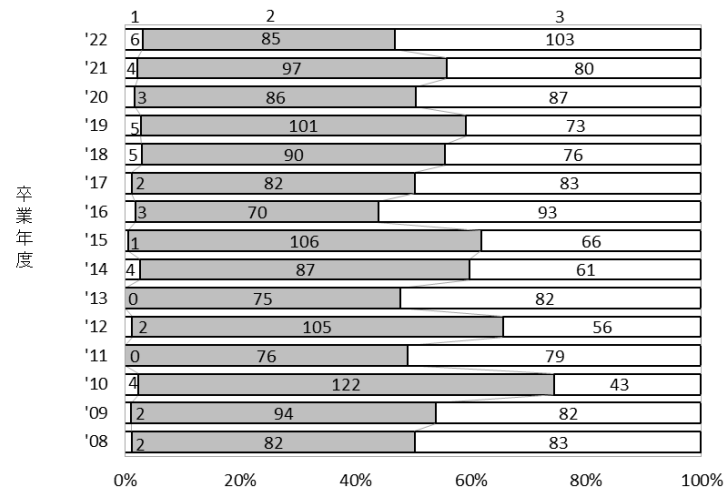
「ない」の割合が多くあまり変動はない。25%程度の学生がチューターに何らかの相談をしており、2年次までの学生の相談窓口として役割を果たしている。



(E2) 学部長へのダイレクトメールについて

1. 利用したことがある
2. 今まで利用したことはない
3. 知らなかった

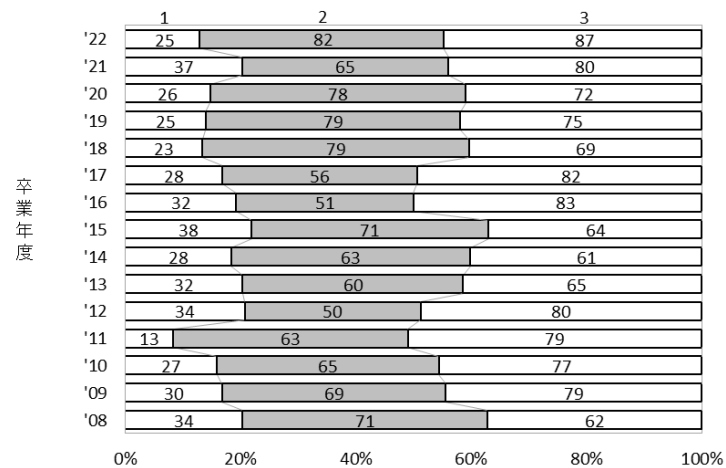
「知らなかった」という回答の割合が半数程度であり、さらに周知を徹底するべきである。



(E3) 合宿研修，七夕祭り，球技大会など各種イベントに興味がありましたか。

1. 大いにあった
2. 少しあった
3. あまりなかった

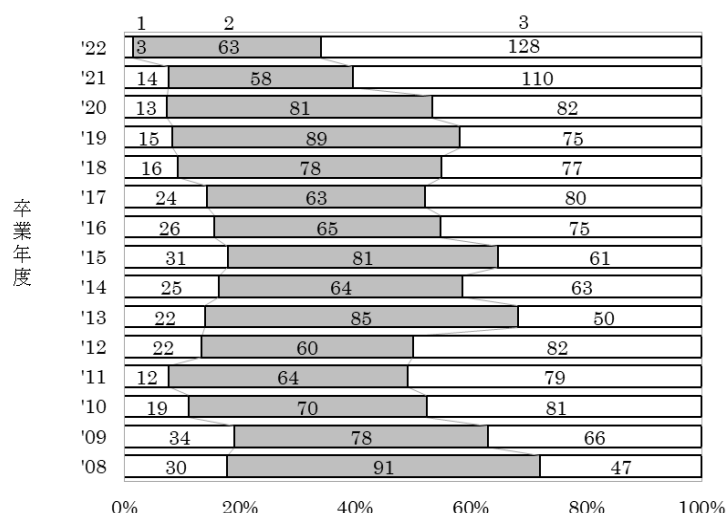
「あまりない」の割合が4割近くあるので、ニーズの調査を含め各種イベントあり方を再検討してもよいであろう。



(E4) 七夕祭りや球技大会に参加しましたか.

1. 3回以上参加した
2. 1～2回参加した
3. 参加したことはない

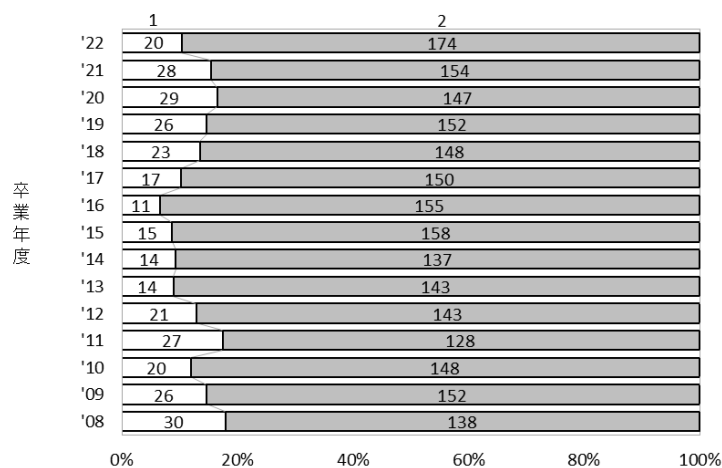
「参加したことはない」という回答が4割以上あり、あまり傾向は変わらない。



(E5) 学生自治会の活動について

1. 知っている
2. 知らない

例年、「知らない」が多いため、その周知を図り関心を高める必要がある。



(E6) イベントに参加して、感想や意見があれば、自由に記述して下さい。

回答数（感想や自由記述）： 13 件

理学部合宿や七夕祭りなど、あまり話したことの無い人とも話す機会があってよかったという感想がいくつかあった。ここ数年コロナ禍で、こうしたイベントを実施できていなかったが、学生たちにとっては有意義な機会であったことがわかる。こうしたイベントはできるだけ早く再開できるように検討する必要がある。

(E7) 他に実施してほしかったイベントがあれば、自由に記述して下さい。

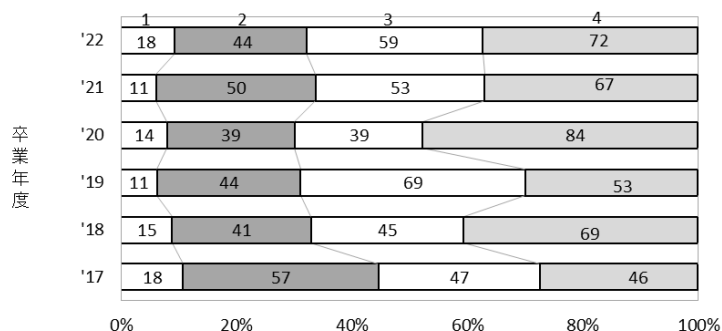
回答数（希望するイベント）： 6 件

合宿はあったほうが良いという意見、国際交流イベント、年明けに餅つきなど他の学生と交流できるイベントを欲しているようです。

(E8) 在学中は、学生生活を続けていく上で、経済的な問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

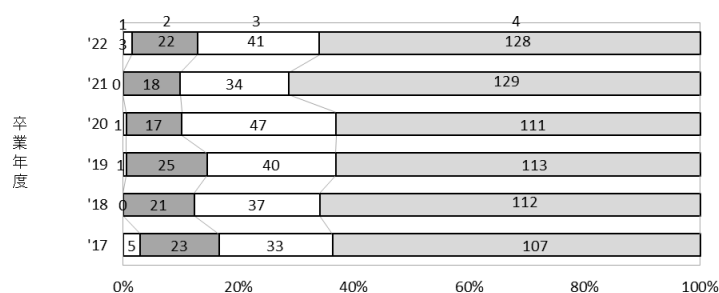
問題があったとの回答が6割以上ある。原因の特定等検討を要する問題である。



(E9) 在学中は、教員や学生との人間関係で問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

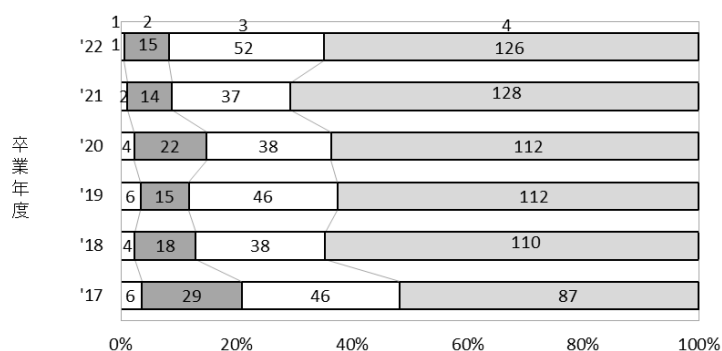
何らかの問題があったという回答が3～4割ほどあり、チューターその他の相談窓口の周知が必要と思われる。



(E10) 在学中は、住居の条件や環境に問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

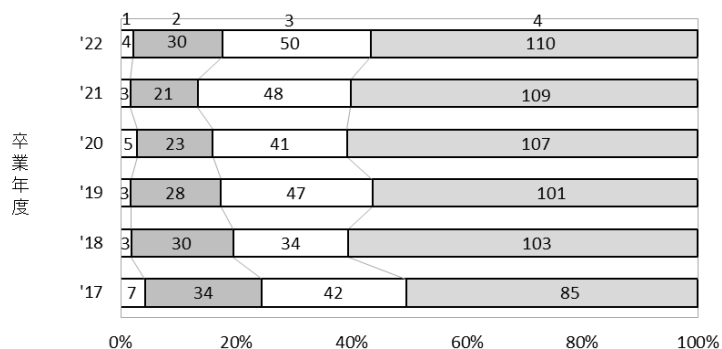
何らかの問題があったという回答が3割程あり、相談しやすい環境の整備が必要である。



(E11) 学生生活を続けていく上で健康面に問題がありましたか.

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

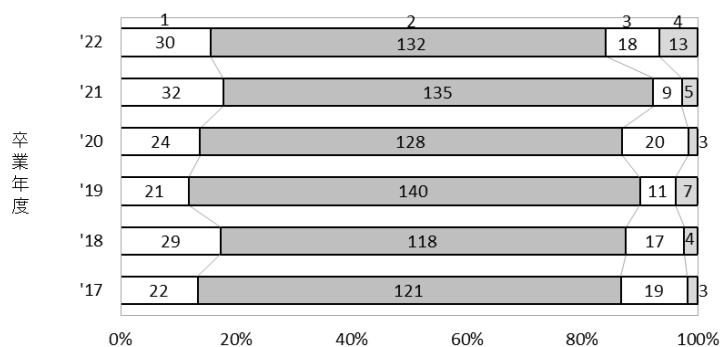
健康面の問題とはどの程度のものなのか不明だが、適宜学生相談室や保健センター等に相談するように指導することも必要である。



(E12) 健康相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

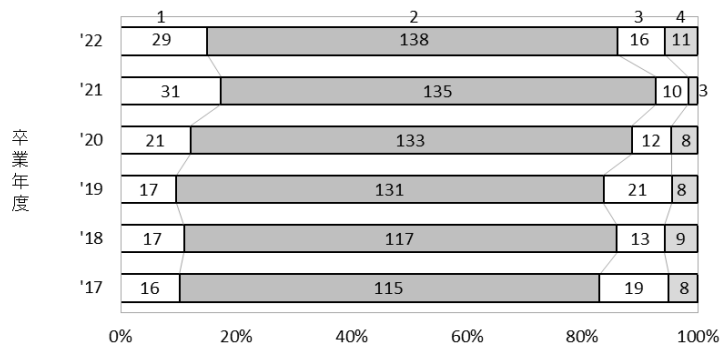
満足と回答している学生の割合が8割を超えているが、さらなる周知徹底が必要であろう。



(E13) 各種ハラスメント相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

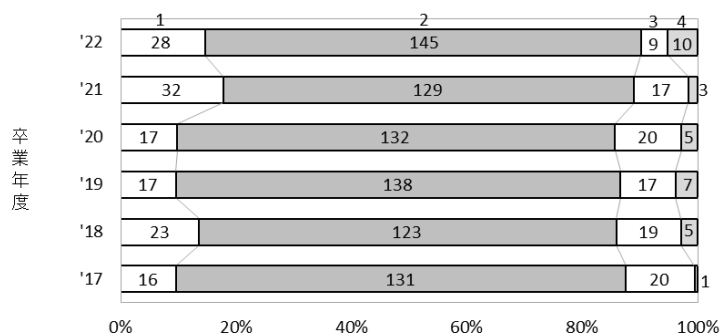
満足と回答している学生の割合が8割を超えているが、さらなる周知徹底が必要であろう。



(E14) 授業・学習支援・生活支援を含む熊本大学の学習環境全体の満足度についてお聞きます。

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

満足であると回答している学生の割合が8割を超えている。さらに割合が増えるように努力・工夫が求められる。また、満足度を後輩に発信してもらうような方策も必要である。



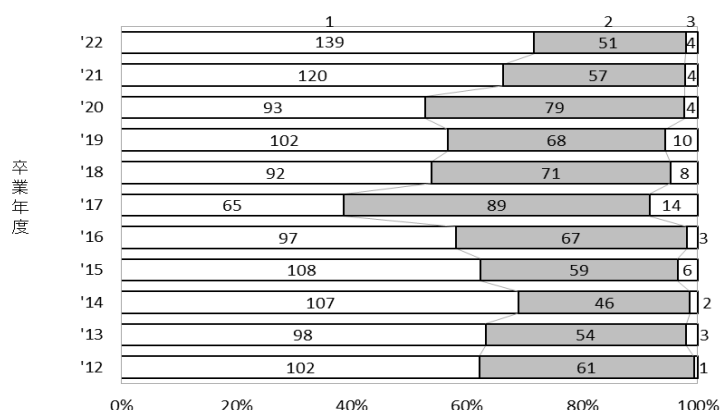
F. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

シラバスについてお聞きます。

(F1) シラバスは良く読みましたか。

1. 良く読んだ
2. 真剣には読まなかった
3. 見ていない

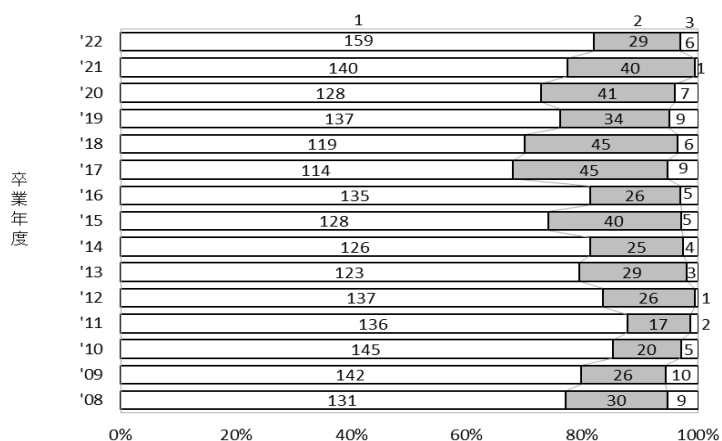
ここ数年で「よく読んだ」の回答が増加している。更なるシラバスの意味するものの周知と改善を継続すべきである。



(F2) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

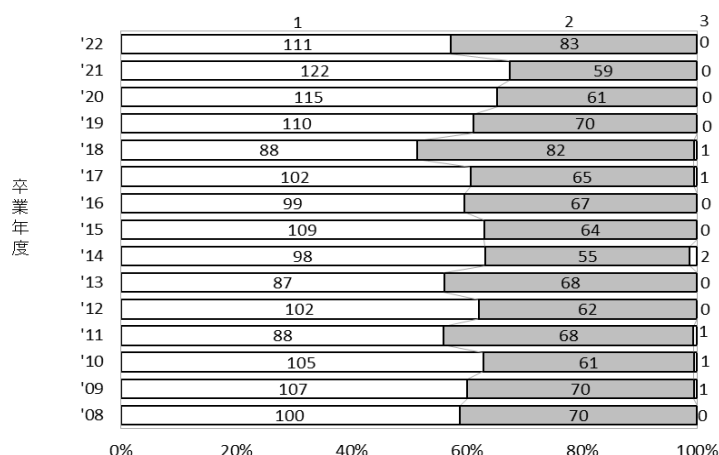
「役に立った」という回答の割合が大きい。(F1)の設問の回答と関連していると思われる。



(F3) 成績評価の方法はシラバスに明確に記述して欲しいですか。

1. 記述して欲しい
2. 今の程度でよい
3. その他

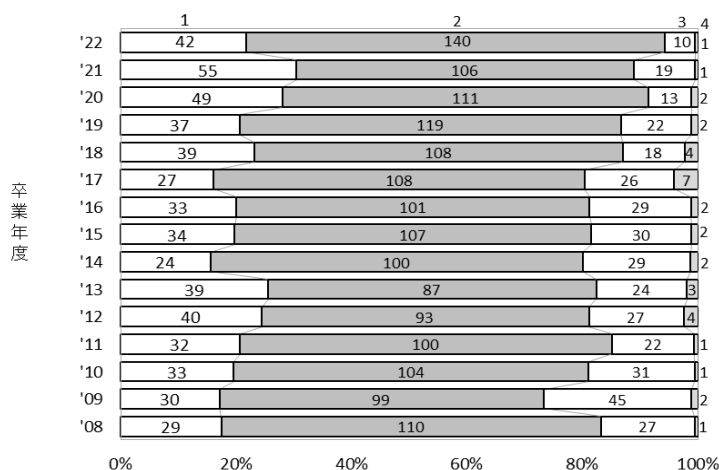
例年通り「記述して欲しい」の割合が6割近くに達している。シラバスのチェック項目にもなっており、近年は全ての科目で記載されている。



(F4) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか。

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他

「行われている」と「多くの科目で行われている」を合わせて8割程度であり、おおむね良好と思われるが、さらなる割合の向上に向けた努力が必要である。

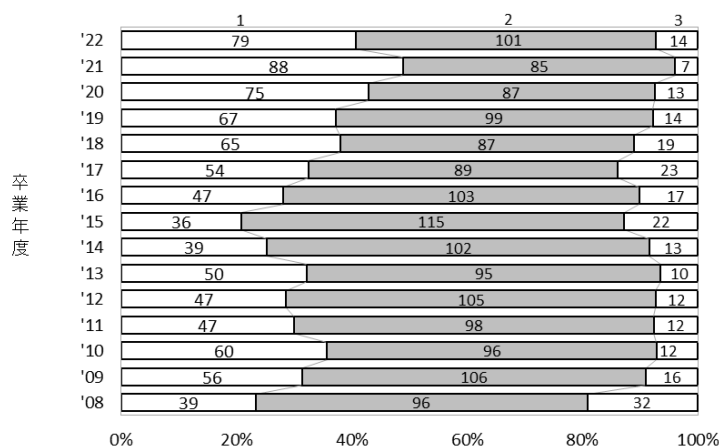


「授業改善のためのアンケート」についてお聞きします

(F5) アンケートの目的は理解していますか。

1. 十分理解している
2. ほぼ理解している
3. よくわからない

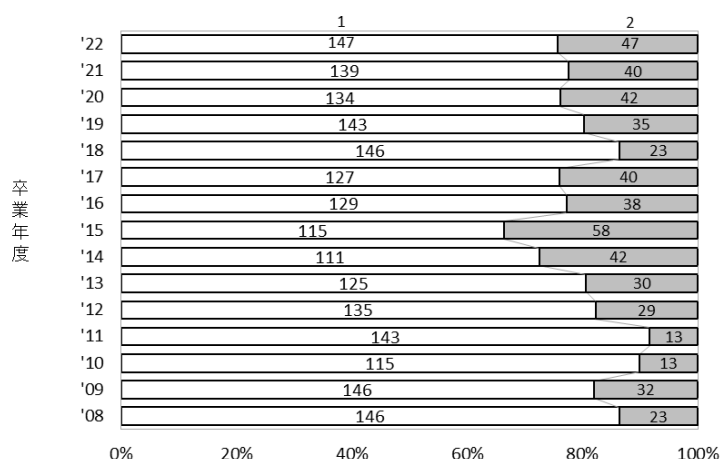
現状のアンケート形態で問題ないと考えられるが、「十分理解している」と「ほぼ理解している」の選択肢の違いが不明瞭である。



(F6) アンケートの回答に積極的に協力しましたか.

1. はい
2. いいえ

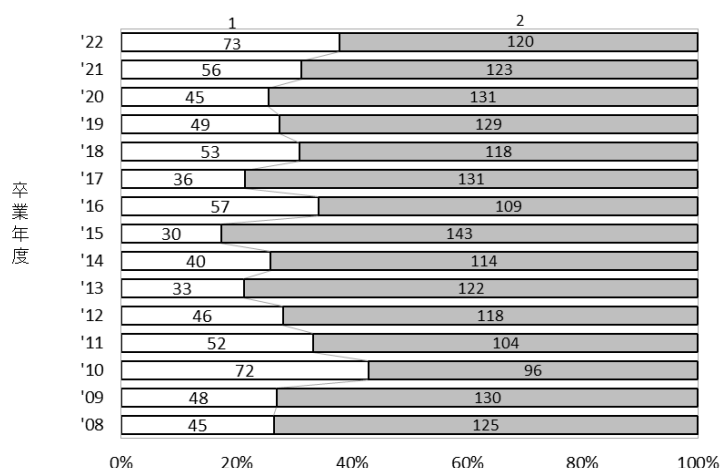
例年通り、「はい」の回答割合が8割近くに達している.



(F7) Web 上での教員のコメントは読みましたか.

1. はい
2. いいえ

「いいえ」の回答が7割程度であり、学生は、教員のコメントにあまり関心を持っていない様子が見える。ただし、3割程度の学生がコメントを見ており、どのような学生が何を期待しているかを含め、精査することもある必要である。



G. その他

(G1) 理学部理学科について、あなた自身がよいと評価できる点や改善が必要であると考える点について自由に記述して下さい。

回答数： 86 件

様々な意見があったが、その中で重要と思われる指摘や意見を列記しました。

1, 2年次の英語学習がほとんど役に立たなかったという意見, 就活の実情や制度について先生方ももっと知る必要があるという指摘, 教授の中には学生生活が「研究」だけで行えると思っている人がいるという指摘, 研究を始める時期を早くすることで研究の内情を知る事ができ, 研究の面白味もよくわかって大学院に行きたいと思う人も増えるという意見, 研究室によって担当教員と生徒間の関係性の悪さが目立つところが少なくなかったように思えるという意見, 理学部図書館の生物, 地学関係の貧弱さを指摘した意見, 卒業後就職する学生に対して差別する教員がいるという指摘, 研究が大事なのはわかるが, 長時間の拘束はよくないという指摘, 実験室と居室が同じなのは理解できないという指摘, 学ぶ分野の選択肢が広いのは良いが, 1つの分野を学ぶときに専門性が足りないと感じたという指摘がありました。